本書の構成

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための注意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお読みください。

第 1 章　ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず、本書の手順に従って操作してください。

第 2 章　快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法などについて説明しています。

第 3 章　リカバリとインストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明します。

第 4 章　困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

第 5 章　技術情報

留意事項について説明しています。

目次

本書をお読みになる前に 5
お問い合わせ一覧 5
本書の表記 6

第 1 章　ご購入後の操作

1 セットアップ 10
Windows98 セットアップ 10
2 ユーザー登録と起動ディスクのコピー 12
ユーザー登録を忘れずに 12
Windows98 起動ディスクを作成してください 12
リカバリ CD-ROM 起動ディスクの準備
（〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合） 12
3 プレインストール仕様 15
ソフトウェア一覧 15
デバイス一覧 17
ドライブ構成 19
アプリケーションのアンインストール 20

第 2 章　快適にお使いいただくために

1 コンピュータウイルス対策 22
VirusScan 22
コンピュータウイルスを発見した場合 23
コンピュータウイルスの被害届け 23
2 MS-DOS モードで CD-ROM を利用する 25
MS-DOS モードで CD-ROM をご使用になる場合 25
3 画面を設定する 26
解像度と色数 26
マルチモニタ機能を使う（〔CX〕除く） 27
4 Power MANagement for Windows 30
インストール方法 30
PMAN の機能 30

第 3 章　リカバリとインストール

1 リカバリ 34
リカバリの概要 34
ハードディスクの圧縮を解除する 35
ハードディスクの領域を設定する 36
リカバリ方法 39
2 ソフトウェアライブラリのアップデート 41
アップデート方法 41
3 ソフトウェアのインストール 42
ドライバのインストール 42
プレインストールソフトのインストール 45
添付ソフトのインストール 46

第 4 章　困ったときに

1 こんなときには 50
トラブル発生時の参照先 50
トラブルシューティング 50
2 それでも解決できないときは 54
お問い合わせ前の確認シート 55

第 5 章　技術情報

1 その他の留意事項 58

索引 77

本書をお読みになる前に

お問い合わせ一覧

本パソコンに添付されているソフトウェアの内容については、次の連絡先にお問い合わせください。なお、記載の情報は、2000 年 5 月現在のものです。電話番号などが変更されている場合は、FM インフォメーションサービスへお問い合わせください。

- **はじめよう！インターネット（@nifty）**
  - 入会／ @nifty サービス全般
    ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-816-042
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5444-2902）
    E-mail：feedback@nifty.com
  - テクニカルサポート
    ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-818-275
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5753-2373）
    E-mail：feedback@nifty.com
  - パスワード再発行／各種手続き／解約
    ニフティ株式会社 @nifty カスタマーセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-842-210
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
    E-mail：feedback@nifty.com
- NIFTY MANAGER for Windows Version 5.12
  ニフティマネジャーでの接続や操作方法について
  ニフティ株式会社 ニフティマネジャー
  サポートセンター
  9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
  電話：0120-326-526
  （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
  E-mail：feedback@nifty.com
- NIFTY SERVE（**パソコン通信サービス**）**の利用に関して**
  ニフティ株式会社 パソコン通信サポート
  センター
  9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
  電話：0120-22-1200
  （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
  E-mail：feedback@nifty.com
- VirusScan for Windows95/98
  日本ネットワークアソシエイツ株式会社
  テクニカルサポートセンター
  9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土日、祝祭日を除く）
  電話：03-3379-7770
- Adobe Acrobat Reader4.05
  ソフトウェア提供会社様より無償で提供されている製品のため、ユーザーサポートはございません。ご了承ください。
- **アプリケーション（カスタムメイドオプション）**
  各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。
- **その他　FM シリーズの技術的なご質問・ご相談**
  FM インフォメーションサービス
  （添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください）

本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。
なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件にしたがい取り扱われるものとします。

本書の表記

本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy  a:  a:
          ↑   ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キー（キーボード手前中央にある何も書かれていない横長のキー）を 1 回押してください。
- コマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。
- CD-ROM ドライブのドライブ名を、［CD-ROM ドライブ］と表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

```
[CD-ROMドライブ]:\setup.exe
```

画面例

本書に記載されている画面は一例です。実際に表示されるウィンドウやファイル名などとは異なる場合があります。ご了承ください。

連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「ー」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。

例：「メイン」メニューの「フロッピーディスク A」の項目を「使用しない」に設定します。

↓

「メイン」ー「フロッピーディスク A」：使用しない

CD-ROM ドライブ

CD-ROM ドライブが搭載されていないモデルの場合、各ドライブが必要な操作では、別売のオプションを用意してください。使用できるオプションについては、『システム構成図』をご覧ください。

オプションの使用方法についてはオプションのマニュアルをご覧ください。

お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や WWW の URL は 2000 年 5 月現在のものです。変更されている場合は、FM インフォメーションサービスへお問い合わせください（→『修理サービス網一覧表』参照）。

製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

Microsoft® Windows® 2000 Professional を、Windows2000 と表記しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION を、Windows98 と表記しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system を、Windows95 と表記しています。

Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 を、WindowsNT 4.0 または WindowsNT と表記しています。

Microsoft® MS-DOS® operating system Version 6.2/V を、MS-DOS と表記しています。

NIFTY MANAGER for Windows Version 5.12 を、NIFTY MANAGER と表記しています。

VirusScan for Windows 95/98 を、VirusScan と表記しています。

Adobe® Acrobat® Reader 4.05 を、Acrobat Reader と表記しています。

Power MANagement for Windows を、PMAN と表記しています。

ドライバーズ CD ／マニュアル CD をドライバーズ CD と表記しています。

機種名表記

本文中の機種名表記は、次のようになっています。機種名を確認してください。

機種名	本文中の表記		
FMV-6866TX5	〔TX〕	TX シリーズ	本パソコン パソコン本体
FMV-6800SL5/6733SL5/6667SL5/ 6600SL5c/6566SL5c	〔SL〕	SL シリーズ	
FMV-6667CL5/6600CL5c/6566CL5c	〔CL〕	CL シリーズ	
FMV-6667CX5/6566CX5c	〔CX〕	CX シリーズ	
FMV-5533ML5	〔ML〕	ML シリーズ	

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT **は、米国** Microsoft Corporation **の米国およびその他の国における登録商標です。**
VirusScan **は、米国** Network Associates **社及び関連会社の商標又は登録商標です。**
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© **富士通株式会社** 2000
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation **の許諾を得ています。**

第 1 章

ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず、本書の手順に従って操作してください。

1 **セットアップ** 10
2 **ユーザー登録と起動ディスクのコピー** 12
3 **プレインストール仕様** 15

1 セットアップ

初めて電源を入れたあとに行う Windows98 の初期設定（Windows98 セットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

Windows98 セットアップ

電源を入れて Windows98 セットアップを始めます。

留意事項

- Windows98 セットアップを行う前に、オプションを取り付けないでください（カスタムメイドオプションを除く）。
- Windows98 セットアップを行う前にオプションを取り付けると、Windows98 セットアップが正常に行われない場合があります。
- Windows98 セットアップ時に音が鳴るので、スピーカーを接続している場合はボリュームを調整してください。
- Windows98 セットアップの各ダイアログボックスが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows98 セットアップが正常に行われない場合があります。ダイアログボックスが完全に表示されてから、マウスで操作してください。
- Windows98 セットアップが進められなくなった場合は、リセットスイッチ（〔TX〕のみ）を押すか、次の手順に従って、パソコン本体の電源を入れ直してください。
  1　パソコン本体の電源スイッチを 4 秒以上押したままにして、強制的に電源を切ります。
  2　10 秒以上たってから、パソコン本体の電源を入れます。
- 電源を入れたあと、画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください（〔CX〕除く）。
- USB キーボード（FMV-KB331/331S/332）をお使いになる場合は、本体の USB コネクタに直接、接続してお使いください。
- セットアップ中に「DHCP　クライアント」ダイアログボックスが表示されることがあります。「はい」をクリックしてセットアップを続けてください。
- LAN ケーブルが接続されていない場合、本パソコンの起動およびスタンバイ状態からの復帰に時間がかかることがあります。

セットアップ

1　本パソコンの電源を入れます。

しばらくすると、「ネットワークパスワードの入力」ダイアログボックスが表示されます。

2　「キャンセル」をクリックします。

POINT

- **カスタムメイドオプションで SCSI カードを選択した場合は、続けて次の手順を行ってください（〔CX〕除く）。**
  1. **「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスで「次へ」をクリックします。**
  2. **「特定の場所にある ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。**
  3. **「Symbios Logic 8100S PCI SCSI Adapter;53C810 Device [5-5-1999]」をクリックし、「次へ」をクリックします。**
  4. **「次へ」をクリックします。**
  5. **「完了」をクリックします。**

「Windows 98 へようこそ」の画面が表示されます。

3 「名前」と「ふりがな」を入力し、「次へ」をクリックします。

「ふりがな」は省略できます。
使用許諾契約書が表示されます。
「使用許諾契約書」とは、本パソコンにあらかじめインストールされている Windows98 を使用するうえでの契約を記述したものです。

4 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

POINT

- **「同意しない」を選択した場合は、「次へ」をクリックし、メッセージに従って操作してください。**

「セットアップの完了」の画面が表示されます。

5 「完了」をクリックします。

6 「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックスが表示されたら、「閉じる」をクリックします。

これで、Windows98 セットアップが完了しました。
カスタムメイドオプションでアプリケーションを選択している場合は、添付の『アプリケーション補足説明書』をご覧ください。

POINT

- **〔CX〕では、ご購入時のボリュームコントロールがミュートに設定されています。タスクバーのスピーカーアイコンをダブルクリックし、ミュートのチェックを外してボリュームを調整してください。**

2 ユーザー登録と起動ディスクのコピー

セットアップが終了したら、ユーザー登録と起動ディスクのコピーを行ってください。

ユーザー登録を忘れずに

本パソコンが使用できる状態になったら、添付のユーザー登録カードに必要事項を記入し、投函してください。
ユーザー登録カードは、弊社やソフトウェア会社が自社製品のユーザーを把握し、さまざまな情報を提供する際に利用するものです。
ソフトウェアのバージョンアップ（ソフトウェアの機能を強化し、版数を上げること）時や電話相談などには、ユーザー登録をしていることが条件ですので、忘れずに投函してください。

Windows98 起動ディスクを作成してください

「Windows98 起動ディスク」とは、Windows が正しく起動できなくなった場合に、コンピュータを起動するために使うディスクです。不測の事態に備えて、なるべく早く「Windows98 起動ディスク」を作成してください。
「Windows98 起動ディスク」の作成には、2HD のフロッピーディスクが 2 枚必要になります。あらかじめ用意してから、「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンで「起動ディスク」タブの「ディスクの作成」をクリックし、表示されるメッセージに従って作成してください。

リカバリ CD-ROM 起動ディスクの準備（〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合）

〔TX〕の場合

〔TX〕に添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」には、リカバリ（→ P.34）に必要なファイルが含まれています。このディスクは、リカバリ時だけでなく、本パソコンが起動しなくなったときの起動ディスクとしても、使用できます。
次のものを用意してください。

- リカバリ CD-ROM 起動ディスク
- リカバリ CD-ROM 起動ディスクのラベル
- 1.44MB フォーマット済 2HD フロッピーディスク 1 枚（購入してください）

■ コピー方法

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を次の方法でコピーし、原本を保管用として普段はコピー（複製）を使用してください。

1 Windows98 を起動します。

2 添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

3 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

4 「3.5 インチ FD（A:）」アイコンを右クリックし、「ディスクのコピー」をクリックします。

「ディスクのコピー」ダイアログボックスが表示されます。

5 コピー元とコピー先に「3.5 インチ FD（A:）」が選択されていることを確認し、「開始」をクリックします。

メッセージに従ってコピーを作成してください。

6 コピーが終了したら「閉じる」をクリックします。

7 コピーしたフロッピーディスクに、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」と印刷されたラベルを貼り、書き込み禁止の状態にします。

ラベルには「作業用」と記入し、お使いのパソコンの機種名を記入しておくことをお勧めします。

CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合

CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合、リカバリには「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」が必要になります。あらかじめ作成しておいてください。

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の作成には「ドライバーズ CD」が必要です。CD-ROM のデータが読み込める環境をご用意ください。

次のものを用意してください。

- ドライバーズ CD
- 1.44MB フォーマット済 2HD フロッピーディスク 1 枚（購入してください）

■ 作成方法

1 「ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」の順にクリックします。

「MS-DOS プロンプト」ウィンドウが表示されます。

3　次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
[CD-ROMドライブ]:\fjuty\mkfd.bat  [CD-ROMドライブ]:
```

「リカバリ起動ディスクを作成します」と表示されます。

4　何かキーを押します。

「新しいディスクをドライブ A：に入れてください」と表示されます。

5　作成用のフロッピーディスクをセットし、【Enter】キーを押します。

しばらくすると、「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

6　次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
WIN_OPK
```

「別のディスクをフォーマットしますか？」と表示されます。

7　【N】キーを押したあと、【Enter】キーを押します。

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の作成が始まります。
しばらくすると「リカバリ起動ディスクの作成が終了しました」と表示されます。

8　右上の ×をクリックし、ウィンドウを閉じます。

9　作成した起動ディスクに、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」と記入したラベルを貼ります。

ラベルには「作業用」と記入し、お使いのパソコンの機種名を記入しておくことをお勧めします。

■ リカバリ CD-ROM 起動ディスクの設定

1　「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に CD-ROM ドライバのファイルをコピーします。

コピーするファイルについては、お使いになる CD-ROM ドライブに添付されているマニュアルなどをご覧ください。

2　Config.sys を修正します。

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の「A:\Config.sys」の該当箇所（XXXXXXXX）を使用するドライバ名に変更してください。

```
DEVICE=XXXXXXXX.SYS  /D:OEMCD001
```

作成した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を書き込み禁止の状態にしてお使いください。

3 プレインストール仕様

Windows98 セットアップが終了した時点での本パソコンの環境は、次のとおりです。

POINT

- 各ドライバおよびソフトウェアの使用方法についてはヘルプまたはReadme.txtなどの説明ファイルをご覧ください。

ソフトウェア一覧

プレインストールソフト

名称	備考
Microsoft Windows 98 operating system SECOND EDITION 4.10.2222A	操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプか、添付されている『Microsoft® Windows® 98 ファーストステップガイド』をご覧ください。
Internet Explorer 5.01	WWW ブラウザです。
Microsoft IME98	日本語入力変換ユーティリティです。
Windows 98 ツール	Windows98 に添付されているツール類が C:\Tools に格納されています。使用方法については、フォルダ内の説明ファイルなどをご覧ください。
DirectX7.0a	マルチメディアの機能を拡張します。DirectX7.0a に対応したソフトウェアの高速表示・高品位音声再生を実現します。
Windows 環境調査ツール（FM Advisor）	本パソコンの使用環境を調査します。また、動作環境取得ツールとしても使用できます。
Acrobat Reader	PDF（Portable Document Format）書類を表示、閲覧、印刷できます。
3 モードフロッピーディスクドライバ	1.44MB、1.2MB、720KB の DOS/V フォーマット済みのフロッピーディスクを読み書きできる 3 モード対応のフロッピーディスクドライブ用のドライバです。
フロッピーディスクドライブクリーニングユーティリティプログラム	クリーニングフロッピー（別売）を使い、フロッピーディスクドライブのヘッド（データを読み書きする部分）を清掃します。使用方法については『ハードウェアガイド』をご覧ください。
FMV 診断	ハードウェアの故障箇所を的確に診断します。
FM 一発修正	文字やアイコン表示の異常を修正します。

名称	備考
ソフトウェアライブラリアップデートプログラム	ソフトウェアが使用している MFC（Microsoft Foundation Class）ライブラリのアップデートプログラムです。ソフトウェアを追加インストールした場合は、アップデートプログラムを実行する必要があります（→ P.41）。

カスタムメイドオプションのアプリケーションについては添付の『アプリケーション補足説明書』や各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。
プレインストールソフトは、必要に応じてアンインストールしてください（→ P.20）。

OS 追加プログラム

ご購入時の状態では、以下の Windows98 用の修正プログラムがインストールされています。

名称	概要
シャットダウン修正モジュール	ネットワークドライブを複数割り当てているときに、Windows が終了しない問題を修正します。
ShutdownSupplement	Windows 終了時におけるいくつかの問題を修正したプログラムです。
URL Security アップデートプログラム	悪意な WEB サイトや E-mail を利用してシステムを傷つけクラッシュさせたり不明な CODE が実行されたりすることを防ぐプログラムです。

添付ソフト（未インストール）

POINT

- **一部のソフトウェアの使用方法についてはヘルプまたはReadme.txtなどの説明ファイルをご覧ください。**

名称	備考
VirusScan	コンピュータウイルスを検出・駆除します（→ P.22）。
FMKEEPER	パソコンのメモリ、ハードディスクや増設オプションなどの資産の情報を表示したり、パソコンを監視し発生した異常の詳細情報を参照できます。なお、〔ML〕では使用できません。
Power MANagement for Windows	本パソコンの電源を制御するソフトウェアです（→ P.30）。
FM-Menu	ボタン式メニューから簡単にアプリケーションを起動できます。また、特定キーの入力や Windows 機能を制限します。
はじめよう！インターネット（@nifty）	インターネットのプロバイダである @nifty に入会できます。
NIFTY MANAGER	パソコン通信用ソフトです。

デバイス一覧

デバイス	名称	備考
CD-ROM	〔TX〕〔ML〕 NEC CD-ROM DRIVE:282 〔SL〕 TEAC CD-540E または MATSHITA CD-ROM CR-594 〔CL〕 TEAC CD-224E 〔CX〕 MATSHITA CD-ROM CR-1750 または MATSHITA CD-ROM CR-1760	
	〔TX〕〔SL〕〔ML〕 MATSHITA CD-RW CW-7585 〔CL〕 MATSHITA UJDA310	CD-R/RW ドライブ （カスタムメイドオプション）
PCMCIA ソケット	〔CX〕 Texas Instruments PCI-1420 CardBus Controller	
SCSI コントローラ	〔TX〕〔SL〕〔CL〕〔ML〕 Symbios Logic 8100S PCI SCSI Adapter;53C810 Device	SCSI カード （カスタムメイドオプション）
キーボード	106 日本語（A01）キーボード（Ctrl + 英数）	
サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ	〔TX〕〔CL〕〔CX〕 Crystal SoundFusion(tm) CS4281 WDM Audio 〔SL〕 Crystal WDM Audio Codec 〔ML〕 YAMAHA DS-XG FM&MPU401 YAMAHA DS-XG GamePort YAMAHA DS-XG PCI Audio CODEC	
ディスクドライブ	〔TX〕〔ML〕 GENERIC IDE DISK TYPE47 GENERIC NEC FLOPPY DISK 〔SL〕〔CL〕 GENERIC IDE DISK TYPE01 GENERIC NEC FLOPPY DISK 〔CX〕 GENERIC IDE DISK TYPE02 GENERIC NEC FLOPPY DISK	
	〔TX〕〔SL〕〔ML〕 FUJITSU MCD3130AP FUJITSU M25-MCB3064AP	光磁気ディスクドライブ （上段：1.3GB、下段：640MB） （カスタムメイドオプション）
ディスプレイアダプタ	〔TX〕 Rage128 GL 4X (Japanese) 〔FMV-6800SL5〕 Rage128 PRO 4XL (Japanese) 〔CL〕〔CX〕〔SL〕（FMV-6800SL5 を除く） Intel(r) 82810E Graphics Controller 4.12.01.2576 〔ML〕 RAGE LT PRO AGP 2X（日本語）	

デバイス	名称	備考
ネットワーク アダプタ	〔TX〕 Intel(R) 82559 Fast Ethernet LOM with Alert on LAN 2* ダイヤルアップアダプタ 〔SL〕〔CL〕〔CX〕〔ML〕 Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100) ダイヤルアップアダプタ	プロトコル：TCP/IP クライアント：Microsoft ネットワーク
ハードディスク コントローラ	〔TX〕〔SL〕〔CL〕 Intel 82801AA Bus Master IDE Controller セカンダリ IDE コントローラ（デュアル FIFO） プライマリ IDE コントローラ（デュアル FIFO） 〔CX〕 Intel 82801AA Bus Master IDE Controller プライマリ IDE コントローラ（デュアル FIFO） 〔ML〕 ALi M5229 PCI Bus Master IDE Controller セカンダリ IDE コントローラ（デュアル FIFO） プライマリ IDE コントローラ（デュアル FIFO）	
フロッピーディスク コントローラ	Fujitsu 3-mode Floppy（FMV Series） 標準フロッピーディスクコントローラ	1.44MB/1.2MB/720KB の各容量のフロッピーディスクを読み書きできます。
ポート（COM/LPT）	〔TX〕 プリンタポート（LPT1） 通信ポート（COM1） 通信ポート（COM2） 〔SL〕〔CL〕〔CX〕〔ML〕 プリンタポート（LPT1） 通信ポート（COM1）	
マウス	PS/2 互換マウスポート	
モニタ	〔TX〕〔SL〕〔CL〕 Super VGA 800 × 600 〔CX〕 Fujitsu FMV Embedded LCD-0275 〔ML〕 Super VGA 800 × 600 標準モニタ	解像度／色数 〔CX〕除く：800 × 600 / High Color（16 ビット） 〔CX〕：1024 × 768 / High Color（16 ビット） リフレッシュレート 〔TX〕〔ML〕〔FMV-6800SL5〕：アダプタの既定値 〔SL〕（FMV-6800SL5 を除く）〔CL〕 〔CX〕：最適
ユニバーサル シリアルバス コントローラ	〔TX〕〔SL〕〔CL〕〔CX〕 Intel 82801AA USB Universal Host Controller USB ルートハブ 〔ML〕 ALi PCI to USB Open Host Controller USB ルートハブ	

ドライブ構成

ドライブ	容量	備考
C	約 2GB	FAT16
D	〔総容量〕－〔C ドライブの容量〕	FAT32
E	CD-ROM ドライブ※	CD-ROM または CD-R/RW 搭載時

※：カスタムメイドオプションで光磁気ディスクドライブを選択した場合、E ドライブが光磁気ディスクドライブに、F ドライブが CD-ROM または CD-R/RW ドライブになります。

POINT

- WindowsNTなどのFAT32をサポートしていないOSからは、Dドライブに割り当てられたディスク領域を認識できません。WindowsNT などの OS でこのディスク領域を使用する場合には、D ドライブのバックアップを行ったあと、FDISK コマンドを使用して FAT32 から FAT16 へ設定を変更してください（→ P.36）。
  また、Windows98 では、NTFS に設定されているディスク領域を認識することができません。この場合、FDISK コマンドで FAT16 または FAT32 に設定を変更してください。
- 〔TX〕に標準搭載される CD-ROM ドライブ（「NEC CD-ROM DRIVE:282」）、〔SL〕に搭載される CD-ROM ドライブ（「TEAC CD-540E/MATSHITA CD-ROM CR-594」）、〔CL〕に搭載される CD-ROM ドライブ（「TEAC CD-224E」）については、「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「デバイスマネージャ」タブで CD-ROM の DMA を設定して使用できます。
- 〔CX〕に標準搭載される CD-ROM ドライブ（「MATSHITA CD-ROM CR-1750」または「MATSHITA CD-ROM CR-1760」）については、「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「デバイスマネージャ」タブで CD-ROM の DMA を設定しないでください。正常な動作が保証されなくなる場合があります。
- カスタムメイドオプションで CD-R/RW を選択している場合、「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「デバイスマネージャ」タブで、〔CL〕は「MATSHITA UJDA310」、〔TX〕〔SL〕は「MATSHITA CD-RW CW-7585」の DMA を設定して使用できます。
- 〔TX〕〔SL〕〔ML〕のカスタムメイドオプションで光磁気ディスクドライブ（ATAPI）を選択している場合、「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「デバイスマネージャ」タブで「FUJITSU MCD3130AP」「FUJITSU M25-MCB3064AP」の DMA を設定しないでください。正常な動作が保証されなくなる場合があります。

アプリケーションのアンインストール

留意事項

アプリケーションをアンインストールする場合は、次の点に気を付けてください。

- アプリケーションをすべて終了してからアンインストールを始める
- DLL ファイルは削除しない

  アンインストール時に次のようなメッセージが表示されることがあります。

  「この DLL は複数のアプリケーションで使用されている可能性があります。削除を行いますか」

  この DLL ファイルを削除すると、他のアプリケーションが正常に動作しなくなることがあります。アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルで、特に指示がない場合は DLL ファイルは削除しないことをお勧めします。

アンインストール方法

一般的に、次の方法があります。

- アンインストール機能を使用する

  アプリケーションにアンインストール機能が用意されている場合があります。
- 「アプリケーションの追加と削除」機能を使用する

  「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」機能を使用してアプリケーションを削除できます。
- ファイルを削除する

  アンインストール機能が用意されていない次の表のアプリケーションについては、ファイルまたはフォルダを削除してください。

名称	削除するファイル名・フォルダ名
Windows 98 ツール	C:\Tools
FM 一発修正	C:\Fjuty\Fmcure

Windows 98 ツールは一度削除すると、リカバリを行わないと復旧できません。

アンインストール方法はアプリケーションによって異なります。詳細は各アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。

第 2 章

快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法などについて説明しています。

1 **コンピュータウイルス対策** 22
2 MS-DOS **モードで** CD-ROM **を利用する** 25
3 **画面を設定する** 26
4 Power MANagement for Windows 30

1　コンピュータウイルス対策

コンピュータウイルスはプログラムの１つで、何らかの方法でコンピュータ内に読み込まれる（感染する）と、コンピュータウイルス自身で増殖したり、大切なデータを壊したり、コンピュータを起動できなくしたりと、悪影響を及ぼします。

VirusScan

本パソコンにはウイルスを発見するためのソフトとして、VirusScan を添付しています。入手したフロッピーディスクや光磁気ディスクなどは、ウイルスチェックを行ったうえで使用してください。VirusScan の使用方法については、「ドライバーズ CD」の「Vscan」フォルダの「Manuals」フォルダ内にある PDF マニュアルをご覧ください。
VirusScan は、ご購入時にはインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。

POINT

- **「McAfee VShield」を起動していると、アプリケーションのインストールが正常に行われなかったり、ご使用のアプリケーションによっては不具合が発生したりすることがあります。この場合は次のいずれかの方法で「McAfee VShield」を終了してください。**
  - **「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「McAfee VirusScan スケジューラ」の順にクリックします。「McAfee VirusScan スケジューラ」ウィンドウで「McAfee VShield」をクリックし、「タスク」メニュー→「終了」の順にクリックします。**
  - **タスクバーの「McAfee VShield」アイコンを右クリックし、「終了」をクリックします。**
- **VirusScan でコンピュータウイルス検査を行っているときは、他のアプリケーションを実行したり、検査中のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出したりしないでください。他のアプリケーションを実行するなど、別の操作を行うと、エラーメッセージが表示される場合があります。**
- **本パソコンをフロッピーディスクから起動する場合、そのフロッピーディスクがコンピュータウイルスに感染していないかをチェックしてからお使いください。**
- **VirusScan は、コンピュータウイルスの情報を記載したデータファイル（DAT ファイル）と、検査プログラム（スキャンエンジン）を使用しています。DAT ファイルは次のサイトから無料でダウンロードできます。定期的に更新してください。**
  http://www.nai.com/japan/
  スキャンエンジンを更新する場合は、最新版の VirusScan をご購入ください。

コンピュータウイルスを発見した場合

コンピュータウイルスを発見した場合は、被害届けを提出してください。

重 要

- **コンピュータウイルスに感染してしまい、本パソコンの修理が必要になった場合、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。ご了承ください。**

コンピュータウイルスの被害届け

コンピュータウイルスの届け出制度は、通商産業省の「コンピュータウイルス対策基準」（平成 2 年 4 月 10 日付通商産業省告示第 139 号／平成 9 年 9 月 24 日改訂通商産業省告示第 535 号）の規定に基づき、平成 2 年 4 月にスタートした制度です。コンピュータウイルスを発見した場合、コンピュータウイルス被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報を、情報処理振興事業協会（IPA）に届け出ることとされています。届け出の書式は次ページのとおりです。

〒113-6591
東京都文京区本駒込2-28-8
情報処理振興事業協会
セキュリティセンター
ウイルス対策室　宛
TEL　03-5978-7509
FAX　03-5978-7518
E-mail　virus@ipa.go.jp

（届出書）
住所
会社・団体名
部署
氏名
TEL
FAX
E-mail

コンピュータウイルスの被害（感染・発病）について、下記のとおり届け出ます。

記

1. 発見場所（部署名または個人名）
2. ウイルス名称（内容）　（名称がわからない場合は症状を記載）
3. 発見年月日
　年　月　日
4. 感染機種
　機種　：富士通FMVシリーズ（IBM互換機）
　OS：　☐ Windows95　☐ Windows98　☐ WindowsNT　☐ Windows2000
　ネットワーク
　（チェックマークをつけてください。LAN接続以外は、スタンドアロンです）
　：☐スタンドアロン（単体）　☐LAN接続
5. 発見方法
　ワクチンなどによる定期検査を行っている　⇒頻度（毎日・毎週　回／　毎）
　発見方法（　）
　発見に利用したソフトウェア
　（☐ VirusScan for Windows95/98/NT/2000（日本ネットワークアソシエイツ株式会社））
　（☐上記以外　⇒名称：　社名：　）
6. 推定される感染経路
　感染元
　☐他人から譲渡（国内）　☐電子メール（国内）
　☐他人から譲渡（国外）　☐電子メール（国外）
　☐雑誌などの付録　☐不明
　☐パソコン通信（BBS）　☐その他（　）
　☐インターネット（ftp site, web site, NetNews）
　媒体
　☐フロッピーディスク　☐電子メール添付ファイル
　☐CD-ROM　☐その他（　）
　☐ダウンロードファイル
7. 被害状況
　PC　台
　HD　台
　FD　枚
　その他
8. 回復処置
　回復方法（　）
　回復に利用したソフトウェア
　（☐ VirusScan for Windows95/98/NT/2000（日本ネットワークアソシエイツ株式会社））
　（☐上記以外　⇒名称：　社名：　）
　投入人日
　（　人・　日（0.5日単位で記述））

※ この届出はコンピュータウイルス対策基準（平成9年9月24日付通商産業省告示第535号）の規定に基づいています。届け出られた内容は被害の拡大及び再発の防止に活用しますが、記載されているプライバシーに関する情報を公表することはありません。

2　MS-DOS モードで CD-ROM を利用する

MS-DOS モードで CD-ROM ドライブを使用するための設定を説明します。

MS-DOS モードで CD-ROM をご使用になる場合

ご購入時はドライバがインストールされていないため、MS-DOS モードで CD-ROM を使用できません。次の手順でドライバをインストールしてください。

POINT

- 設定を行う場合には、下記以外の作業を行わないでください。下記以外の作業を行うと、Windows98 が正常に起動されなくなることがあります。

1　エディタ（メモ帳）などで C:\Config.sys を開き、次の行の「REM 」を削除します。

```
REM  DEVICE=C:\REALMODE\OAKCDROM.SYS  /D:OEMCD001
        ↓
DEVICE=C:\REALMODE\OAKCDROM.SYS  /D:OEMCD001
```

2　次の行がない場合は、最後の行に追加して保存します。

```
lastdrive=z
```

3　エディタ（メモ帳）などで C:\Windows\Dosstart.bat を開き、次の行の「REM 」を削除して保存します。

```
REM  MSCDEX.EXE  /D:OEMCD001  /L:E
        ↓
MSCDEX.EXE  /D:OEMCD001  /L:E
```

（「/L:E」の「E」には CD-ROM ドライブ名が入ります。）

4　本パソコンを再起動します。

POINT

- 別途CD-ROMドライブを購入された場合は、必要に応じて上記の2つのファイルの該当部分（CD-ROM ドライバ名）をご購入の CD-ROM ドライバに変更してください。また、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に関しても同様に変更が必要になる場合があります。〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合は、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に CD-ROM ドライバをコピーし、Config.sys の CD-ROM ドライバ名と Autoexec.bat のドライブ名を変更してください。

3 画面を設定する

ここでは、ディスプレイの解像度と色数を変更する方法と各機能について説明します。

解像度と色数

本パソコンでは、Windows98 の「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「設定」タブで次の解像度、色数を選択／変更できます。
なお、High Color は 65536 色、True Color は 16777216 色です。

<table>
<tr><th>解像度
（ピクセル）</th><th>色数</th><th>〔TX〕</th><th>FMV-
6800SL5</th><th>FMV-
6733SL5/
6667SL5/
6600SL5c/
6566SL5c</th><th>〔CL〕</th><th>〔CX〕</th><th>〔ML〕</th></tr>
<tr><td rowspan="4">640 × 480</td><td>16 色</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="3">○</td><td rowspan="3">○</td><td rowspan="3">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>256 色
High Color（16ビット）</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>True Color（24 ビット）</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>True Color（32 ビット）</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">800 × 600</td><td>256 色
High Color（16ビット）</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="3">○</td></tr>
<tr><td>True Color（24 ビット）</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>True Color（32 ビット）</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1024 × 768</td><td>256 色
High Color（16 ビット</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="3">○</td></tr>
<tr><td>True Color（24 ビット）</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>True Color（32 ビット）</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1280 × 1024</td><td>256 色
High Color（16ビット）</td><td>○</td><td>○※</td><td>○※</td><td>○※</td><td rowspan="3">×</td><td rowspan="3">○</td></tr>
<tr><td>True Color（24 ビット）</td><td>×</td><td>×</td><td rowspan="2">×</td><td rowspan="2">×</td></tr>
<tr><td>True Color（32 ビット）</td><td>○</td><td>○※</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1600 × 1200</td><td>256 色
High Color（16ビット）</td><td>○</td><td rowspan="3">×</td><td rowspan="3">×</td><td rowspan="3">×</td><td rowspan="3">×</td><td rowspan="3">×</td></tr>
<tr><td>True Color（24 ビット）</td><td>×</td></tr>
<tr><td>True Color（32 ビット）</td><td>○</td></tr>
</table>

※：デジタルディスプレイ（DVI 出力）では、表示されません。

POINT

- **設定できる色数は、画面の解像度によって異なります。解像度を高くすると、設定できる色数は少なくなります。**
- **解像度／色数を変更する場合は、必ず他のアプリケーションや常駐しているソフトウェアをすべて終了させてから行ってください。また、変更後は必ず Windows98 を再起動してください。**
- **色数やリフレッシュレートを変更すると、画面がディスプレイ中央に表示されない場合があります。この場合は、ディスプレイの仕様を確認して適切なリフレッシュレートを設定するか、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください（〔CX〕除く）。**
- **ディスプレイによって、設定できる解像度が異なります。詳細はディスプレイの取扱説明書をご覧ください（〔CX〕除く）。**
- **「設定」タブの「詳細」をクリックし、「フォントサイズ」でフォントサイズを変更すると、正常に表示されない場合があります。**

マルチモニタ機能を使う（〔CX〕除く）

Windows98 には、1 台のパソコンに複数のグラフィックスカードとディスプレイを接続して、複数台のディスプレイで 1 つのデスクトップを表示できる「マルチモニタ機能」があります。ここでは、例として、2 台のディスプレイでマルチモニタ機能を使う方法を説明します。

留意事項

- グラフィックスカードを選ぶときは次の点にご注意ください。
  - 本パソコンには AGP の空きスロットがないため、AGP 規格のグラフィックスカードは使用できません。
  - Windows98 に対応しているグラフィックスカードであっても、添付されているディスプレイドライバがマルチモニタ機能に対応していない場合があります。
    マルチモニタ機能に対応しているかどうかを製造元のメーカーにお問い合わせください。
- マルチモニタ機能を使用する前に BIOS セットアップで次の項目を設定してください。
  - 〔TX〕…「詳細」メニュー―「ディスプレイ設定」―「プライマリディスプレイ」：AGP
  - 〔SL〕〔CL〕…「詳細」メニュー―「ディスプレイ設定」―「プライマリディスプレイ」：Onboard
  - 〔ML〕…「詳細」メニュー―「内蔵デバイス設定」―「プライマリディスプレイ」：AGP
- 〔ML〕では、グラフィックスカードを取り付けていなくても、「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「設定」タブに、ディスプレイ「1」と「2」が表示されます。本パソコンでは、ディスプレイ「2」は使用できませんのであらかじめご了承ください。
  グラフィックスカードを取り付けた場合は、ディスプレイ「3」が表示されます。

■ 用意するもの

- マルチモニタ機能に対応している PCI 規格のグラフィックスカード
- PCI 規格のグラフィックスカードに添付されているディスプレイドライバ（マルチモニタ機能対応のもの）
- ディスプレイ

グラフィックスカードとディスプレイを接続する

グラフィックスカードを取り付けてディスプレイを接続し、ディスプレイドライバをインストールします。

1 グラフィックスカードを本パソコンに取り付けます（→『ハードウェアガイド』参照）。

2 取り付けたグラフィックスカードに、ディスプレイを接続します。

接続方法については、ディスプレイとグラフィックスカードのマニュアルをご覧ください。

3 ディスプレイの電源ケーブルを接続します。

接続方法については、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

4 ディスプレイドライバをインストールします。

グラフィックスカードのマニュアルを参照して、ディスプレイドライバをインストールしてください。ドライバをインストールしたあと、本パソコンを再起動してください。

POINT

- **自己診断（POST）時、MS-DOS モード時、Safe モード時などのマルチモニタ機能が有効ではない状態では、プライマリアダプタのみ有効です。**
  「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「設定」タブでは、プライマリアダプタは「1」と表示されます。
- **〔TX〕〔ML〕では、複数のグラフィックスカードを増設した場合、PCI スロットの番号が小さい順にアダプタが割り当てられます。〔SL〕〔CL〕では、大きい順に割り当てられます。**

マルチモニタ機能を設定する

■ 留意事項

- 増設したグラフィックスカードによっては、本パソコンにあらかじめ接続されているディスプレイの画面が正しく表示されない場合があります。その場合は、ディスプレイドライバを再インストールしてください（→ P.42）。

ディスプレイドライバをインストールし、本パソコンを再起動したあと、次の操作を行ってください。

1 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 「設定」タブをクリックします。

3 次のディスプレイをクリックします。

〔TX〕〔SL〕〔CL〕　「2」
〔ML〕　「3」
「このモニタを使用可能にしますか？」と表示されます。

4 「はい」をクリックします。

5 「画面のプロパティ」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

6 接続したディスプレイの解像度と色数を設定します。

「互換性の警告」ダイアログボックスが表示された場合は、「新しい色の設定でコンピュータを再起動する」を選択し、「OK」をクリックしてください。

4 Power MANagement for Windows

Power MANagement for Windows（PMAN）は、本パソコンの電源を制御するソフトウェアです。本ソフトウェアでは、「スケジュールによる電源の ON/OFF（自動シャットダウン）」、「イベント連携機能」、「LAN 経由によるリモート電源 ON/OFF」の機能を使用できます。

インストール方法

「ドライバーズ CD」内の「Pmanfull」フォルダの「Setup.exe」でインストールしてください。インストール方法の詳細は、フォルダ内の「Readme.txt」をご覧ください。

PMAN の機能

本ソフトウェアの主な機能は、以下のとおりです。

- **スケジュール機能**
  カレンダスケジュールにより、パソコン電源の自動運転ができます。週間スケジュールの他、祝日、長期休暇などの特定日のスケジュールも可能です。スケジュールの設定は、「動作設定」を使用してください。
- **リモート電源制御機能**
  本パソコンに搭載されている Wakeup on LAN 機能と連携し、ネットワーク上の他のパソコンから LAN 経由で本パソコンの電源投入／切断（自動シャットダウン含む）を行うことができます。グループ指定（運用単位）により複数のパソコンを一括して電源投入／切断することも可能です。
  本機能を使用する場合は、別売の「Power MANagement for Windows（コンソール）」が必要です。設定を行う場合は、「Power MANagement for Windows（コンソール）」（別売）の「運用設定」を使用してください。
- **イベント連携機能**
  通常起動時、通常終了時（シャットダウン時）のイベントごとにユーザープロセス（プログラム、コマンドなど）を指定できます。イベント発生とアプリケーションを連携させることが可能です。たとえば、通常停止（電源切断）のイベント発生時にファイルの退避を行うといったようなアプリケーションの実行も可能です。イベントの設定は、「動作設定」を使用してください。

POINT

- **本ソフトウェアを使用する場合は、BIOS セットアップで以下に示す項目を設定してください（リモート電源制御機能使用時）。**
  - **〔TX〕の場合**
    「省電力」メニュー－「省電力モード」：使用する
  - **〔SL〕〔CL〕の場合**
    「省電力」メニュー－「自動ウェイクアップ」－「LAN によるウェイクアップ」：使用する
  - **〔CX〕の場合**
    「省電力」メニュー－「PCI PME によるウェイクアップ」：使用する
  - **〔ML〕の場合**
    「詳細」メニュー－「省電力設定」－「PCI PME によるウェイクアップ」：使用する
- **シャットダウンについて**
  本ソフトウェアでは、パソコンの強制シャットダウンは行いません。このため、シャットダウン時にアプリケーションの終了を確認してくるプログラムがある場合は、終了の確認画面が表示された状態でキー入力待ち状態になります。
- **DHCP について（リモート電源制御機能使用時のみ）**
  本ソフトウェアは、DHCP プロトコルに対応していません。必ず、固定 IP アドレスを使用してください。
- **ダイヤルアップアダプタが組み込まれている場合（リモート電源制御機能使用時のみ）**
  ダイヤルアップアダプタがプライマリとして組み込まれていることがあります。その場合は、「ネットワーク」ダイアログボックスからダイヤルアップアダプタを削除し、本パソコンの LAN アダプタをプライマリに設定したあとに、PMAN のインストールを行ってください。
- **スケジュールの設定について（スケジュール機能使用時のみ）**
  スケジュール機能において電源 ON/OFF 時刻の設定を行う場合、電源 OFF 時刻と電源 ON 時刻との間隔を 1ヶ月以内に設定してください。
- **スケジュール切断確認画面について（スケジュール機能使用時のみ）**
  「切断確認画面表示時間」は、スケジュールによる電源切断時に切断の有無の確認画面を表示する時間を指定します。本設定はインストール時に 10 秒に設定されています。本設定時間を変更する場合には、本ソフトウェアをインストールしたフォルダ内にある「Rs232c.dat」ファイルをエディタ（メモ帳など）で開き、次に示す値を変更してください。切断確認画面表示時間の変更後は、本パソコンを再起動してください。変更前に「Rs232c.dat」ファイルをコピーしておくことをお勧めします。

  COM1
  009600
  8
  0
  2
  03
  07000
  000
  010 → **切断確認画面表示時間（秒単位：000 ～ 999）**

- **シャットダウン時間について**
  シャットダウン時にアプリケーションなどが終了処理を行う時間を確保する場合に本設定を行います。イベント連携時にアプリケーションの実行を行う場合などにアプリケーションの実行時間を想定して設定してください。本設定はインストール時に 0 秒に設定されています。シャットダウン時間を変更する場合には、インストールしたフォルダ内にある「Rs232c.dat」ファイルをエディタ（メモ帳など）で開き、次に示す値を変更してください。シャットダウン時間の変更後は、本パソコンを再起動してください。変更前に「Rs232c.dat」ファイルをコピーしておくことをお勧めします。

  COM1
  009600
  8
  0
  2
  03
  07000
  000 → **シャットダウン時間（秒単位：**000 ～ 999**）**
  010

- **スケジュールの遅延について**
  スケジュール時間は、10 秒程度の遅れが発生する場合があります。
- **スクリーンセーバーについて**
  本ソフトウェアを使用する場合、スクリーンセーバー名に「OpenGL」の表記があるスクリーンセーバーは使用しないでください。

第 3 章

リカバリとインストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明します。

1 **リカバリ** 34
2 **ソフトウェアライブラリのアップデート** 41
3 **ソフトウェアのインストール** 42

1　リカバリ

Windows98 が起動しないなどの問題が発生した場合、またはハードディスクの領域を変更したい場合は、リカバリを行います。

リカバリの概要

リカバリとは、「リカバリ CD-ROM」と「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」（〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合）を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態（「プレインストール仕様」（→ P.15））に戻す操作です。

留意事項

- リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- オプションを取り付けている場合は、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- USB キーボード（FMV-KB331/331S/332）をお使いになる場合は、BIOS セットアップ（→『ハードウェアガイド』参照）で USB キーボードを使用可能に設定してからリカバリを行ってください。
  なお、USB キーボードは本体の USB コネクタに直接、接続してお使いください（USB ハブなどをパソコンとキーボードの間に接続しないでください）。
- カスタムメイドオプションのアプリケーションはリカバリされません。

リカバリの手順

リカバリは次の手順で行います。

1. **「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の準備（〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合）（→ P.12）**
2. **ハードディスクの圧縮解除（必要に応じて）（→ P.35）**
3. **ハードディスクの領域設定（必要に応じて）（→ P.36）**
4. **リカバリ（→ P.39）**

リカバリ終了後

リカバリ後、必要に応じてソフトウェアをアンインストールしてください（→ P.20）。
また、必要に応じて添付アプリケーションやカスタムメイドのアプリケーションをインストールし、使用するソフトウェアをすべてインストールしたあと、ソフトウェアライブラリをアップデートしてください（→ P.41）。

ハードディスクの圧縮を解除する

ドライブスペースで圧縮されたドライブがハードディスクに存在する場合、リカバリできません。圧縮を解除してから、リカバリしてください。
Windows98 が起動できないなどの理由で圧縮を解除できない場合は、次の操作を行ってください。

1 次の操作を行います。

- 〔SL〕〔CL〕〔CX〕〔ML〕をお使いの場合（CD-ROM ドライブなしモデルを除く）
  「リカバリ CD-ROM」をセットします。
- 〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

2 本パソコンを再起動します。

3 次の操作を行います。

- 〔SL〕〔CL〕〔CX〕〔ML〕をお使いの場合（CD-ROM ドライブなしモデルを除く）
  「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
  メニューが表示されます。
- 〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  手順 5 へ進みます。

4 CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。

5 「Windows98 リカバリメニュー」が表示されたら、【3】キーを押します。

MS-DOS プロンプトが表示されます。

6 ハードディスク内に保存したいファイルがある場合は、保存用のフロッピーディスクをセットし、バックアップします。

手順 7 の操作を行うと、ハードディスクの内容を保存できなくなります。必要なファイルは必ずバックアップしてください。

7 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
deldbspc [ホストドライブ]:
```

ファイルが削除されます。

8 本パソコンの電源を切ります。

ハードディスクの領域を設定する

次のいずれかに該当する場合、ハードディスクの領域を設定する必要があります。

- 現在のハードディスク領域を変更したいとき
- ハードディスクを増設したとき

ハードディスク領域の概要

まず、ハードディスク領域の概要を説明します。

■ 基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域

ハードディスク領域には、次の 2 種類があります。

- **基本** MS-DOS **領域**

  OS をインストールするために必要な領域です。プライマリマスターに接続されたハードディスク（1 台目のハードディスク）の基本 MS-DOS 領域は、起動ドライブ（C ドライブ）になります。プライマリマスター以外に接続されたハードディスク（増設したハードディスク）の場合は、基本 MS-DOS 領域の作成は必須ではありません。

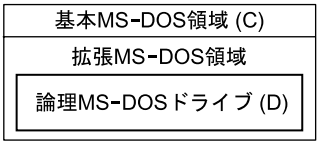
- **拡張** MS-DOS **領域**

  アプリケーションやデータを格納するための領域です。基本 MS-DOS 領域を設定している場合は、残りの領域すべてが拡張 MS-DOS 領域になります。増設したハードディスクの場合は、ハードディスク全体を拡張 MS-DOS 領域にできます。

  拡張 MS-DOS 領域内には、論理 MS-DOS ドライブを作成する必要があります。論理 MS-DOS ドライブを作成することで、拡張 MS-DOS 領域にドライブ名（D、E、F …）が割りふられます。論理 MS-DOS ドライブは複数（最高 23 個）作成できます。

POINT

- **本パソコンご購入時にはプライマリマスターのハードディスクに、基本** MS-DOS **領域と拡張** MS-DOS **領域が設定され、拡張** MS-DOS **領域全体が** 1 **つの論理** MS-DOS **ドライブに設定されています。**



■ FAT16 と FAT32

ハードディスクの領域を設定する場合に、ファイルの管理形式として FAT16 または FAT32 のどちらかを選択できます。

FAT16 は最大 2GB までしかドライブを管理できません。そのため、2GB を超える領域を作成したい場合は FAT32 を使用します。しかし、FAT32 をサポートしていない OS（MS-DOS や WindowsNT 4.0 など）から FAT32 でフォーマットしたハードディスクを認識できません。このため、MS-DOS で作成された起動フロッピーからインストールを行うアプリケーションの場合、インストールに失敗するなどの問題が発生することがあります。

POINT

- **リカバリは、**FAT16**、**FAT32 **のいずれのファイルシステムに対しても実行できます。**

ハードディスクの領域を設定するうえでの留意事項

ハードディスクの領域を設定する前にお読みください。

- 領域を削除したり容量を変更したりすると、領域内のファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップをとってください。
- 基本 MS-DOS 領域は、リカバリに必要な領域（最低 2GB）に設定してください。

ハードディスクの領域を設定する

領域の設定には、FDISK コマンドを使用します。
手順の流れを確認後、FDISK を起動してください。

■ 手順の流れ

1 FDISK で必要に応じて領域を削除する

削除は次の順番で行います。

1 拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブの削除
2 拡張 MS-DOS 領域の削除
3 基本 MS-DOS 領域の削除

2 FDISK で領域を作成する

削除と逆の順番で行います。

3 ドライブをフォーマットする

リカバリを行うドライブは、リカバリ中にフォーマットされますので、フォーマットの必要はありません。

■ FDISK の起動方法と概要

FDISK は、次の手順で起動してください。なお、Windows98 がインストールされている環境で増設ハードディスクの領域を設定する場合は、Windows98 の MS-DOS プロンプトで「**fdisk**」と入力し、【Enter】キーを押してください。

1 次の操作を行います。

- 〔SL〕〔CL〕〔CX〕〔ML〕をお使いの場合（CD-ROM ドライブなしモデルを除く）
  「リカバリ CD-ROM」をセットします。
- 〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

2 本パソコンを再起動します。

3 次の操作を行います。

- 〔SL〕〔CL〕〔CX〕〔ML〕をお使いの場合（CD-ROM ドライブなしモデルを除く）
  「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
  メニューが表示されます。
- 〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  手順 5 へ進みます。

4 CD-ROM **ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。**

5 **「Windows98 リカバリメニュー」が表示されたら、【2】キーを押します。**
「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか ...？」と表示されます。

6 **FAT16 を使用するときは【N】キーを、FAT32 を使用するときは【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。**
「FDISK オプション」が表示されます。

7 **次の説明と画面のメッセージを参照し、領域を設定します。**

- MS-DOS **領域または論理** MS-DOS **ドライブを作成**
  基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成する場合に選択します。
- **アクティブな領域を設定**
  基本 MS-DOS 領域をアクティブ（領域に OS をインストールしたら起動できる状態）にする場合に選択します。なお、基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てた場合は、自動的にアクティブに設定されます。アクティブな領域は、「状態」に「A」と表示されます。

重 要

- **基本** MS-DOS **領域（領域 C）をアクティブに設定しないと、ハードディスクから起動できません。基本** MS-DOS **領域は、必ずアクティブに設定してください。**

- **領域または論理** MS-DOS **ドライブを削除**
  すでに設定されている基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除する場合に選択します。
- **領域情報を表示**
  現在の設定を確認する場合に選択します。
- **現在のハードディスクドライブを変更（ハードディスクを増設している場合に表示されます）**
  FDISK を起動すると、プライマリマスターのハードディスクを設定できる状態になります。これを増設したハードディスクに切り換える場合に選択します。

リカバリ方法

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の手順を説明します。
次のものを用意してください。

- 準備した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」(〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合)(→ P.12)
- 「リカバリ CD-ROM」

POINT

- **リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。ご注意ください。**
- **リカバリの所要時間は、最大約 30 分です。**

1 BIOS の設定をご購入時の設定に戻します。

ご購入時の設定に戻すには、BIOS セットアップ(→『ハードウェアガイド』参照)の設定を初期値に戻してください。

POINT

- **USB キーボード(FMV-KB331/331S/332)をお使いになる場合は、BIOS セットアップ(→『ハードウェアガイド』参照)で USB キーボードを使用可能に設定してからリカバリを行ってください。**
  なお、USB キーボードは本体の USB コネクタに直接、接続してお使いください。

USB キーボード以外の BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定に変更していると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

2 次の操作を行います。

- 〔SL〕〔CL〕〔CX〕〔ML〕をお使いの場合(CD-ROM ドライブなしモデルを除く)
  「リカバリ CD-ROM」をセットします。
- 〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

3 本パソコンを再起動します。

4 次の操作を行います。

- 〔SL〕〔CL〕〔CX〕〔ML〕をお使いの場合(CD-ROM ドライブなしモデルを除く)
  「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
  メニューが表示されます。
- 〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  手順 6 へ進みます。

5 CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。

6 「Windows98 リカバリメニュー」が表示されたら、【1】キーを押します。

「処理を続行される前に、必ず以下をよくお読みください。」と表示されます。

7 **【↑】【↓】キーまたは【Page Up】【Page Down】キーで説明をスクロールし内容を確認して、【Y】キーを押します。**

8 **次の操作を行います。**

- 〔SL〕〔CL〕〔CX〕〔ML〕をお使いの場合（CD-ROM ドライブなしモデルを除く）
  【Y】キーを押します。
- 〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  「リカバリ CD-ROM」をセットし、しばらくしたら【Y】キーを押します。

あとは、メッセージに従って操作します。
リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。

9 **次の操作を行います。**

- 〔SL〕〔CL〕〔CX〕〔ML〕をお使いの場合（CD-ROM ドライブなしモデルを除く）
  CD-ROM を取り出してから、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動します。
- 〔TX〕および CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  CD-ROM とフロッピーディスクを取り出してから、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動します。

10 **以降、第 1 章を参照して操作してください（→ P.10）。**

2 ソフトウェアライブラリのアップデート

添付ソフトなど新たにソフトウェアをインストールした場合、アプリケーションによっては追加された MFC ライブラリをアップデートする必要があります。

アップデート方法

使用するソフトウェアすべてをインストール後にアップデートしてください（1 つのソフトウェアをインストールするごとにアップデートする必要はありません）。該当する MFC ライブラリが検出・アップデートされます。

1. **「ドライバーズ CD」をセットします。**
2. **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**
3. **「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。**
   [CD-ROMドライブ]:\libupd\speu.exe
4. **本パソコンを再起動します。**

3 ソフトウェアのインストール

一部のドライバおよびアプリケーションのインストール方法を説明します。

重 要

- **添付の「ドライバーズ CD」には、機種によっては使用できないソフトウェアも含まれています。本書を参照し、正しいソフトウェアを使用してください。誤ったソフトウェアをインストールした場合、本パソコンが正しく動作しなくなり、リカバリが必要となることがあります。**
  なお、「ドライバーズ CD」の Indexcd.htm もご覧ください。

ドライバのインストール

リカバリ後、ドライバを再インストールする必要はありません。何らかの理由でドライバの再インストールが必要な場合のみ、必要なドライバを再インストールしてください。
ドライバのインストールは、それぞれのドライバのインストール手順をご覧ください。
インストール手順は次の表の場所にあります。

ドライバ	機種	インストール手順の保存場所とファイル名
ディスプレイドライバ	〔ML〕	「ディスプレイドライバのインストール（〔ML〕）」（→ P.43）をご覧ください。
	〔TX〕	「ドライバーズ CD」内の\Ati4xl\ReadmeGL.txt
	〔FMV-6800SL5〕	「ドライバーズ CD」内の\Ati4xl\Readme4Xl.txt
	〔SL〕（FMV-6800SL5を除く）〔CL〕〔CX〕	ドライバーズ CD」内の\810e\Install.txt
サウンドドライバ	〔TX〕〔CL〕〔CX〕	「ドライバーズ CD」内の\Cs4281\Inst98se.txt
	〔SL〕	「ドライバーズ CD」内の\Cs4299\Install.txt
	〔ML〕	「ドライバーズ CD」内の\Yamaha\Readme.txt
LANドライバ	〔TX〕〔SL〕〔CL〕〔CX〕	「ドライバーズ CD」内の\Lan1801\Readme.txt
	〔ML〕	「ドライバーズ CD」内の\Lan_v401\Readme.txt

この表以外のドライバについては、「ドライバーズ CD」内の「Indexcd.htm」で該当するドライバのフォルダ名称を確認し、フォルダ内の Readme.txt または Install.txt をご覧ください。

POINT

- **デジタルディスプレイをお使いの方へ**〔CL〕
  ディスプレイドライバのインストールの前に「Fujitsu Digital LCD Utility**」をインストールしてください。このユーティリティは、「ドライバーズ** CD**」の「**Update**」フォルダにあります。インストール方法については、「**Update**」フォルダ内の** Readme.txt **をご覧ください。**

ディスプレイドライバのインストール（〔ML〕）

最初にディスプレイドライバのアンインストールを行います。

1 「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。

2 一覧の中から「ATI Display Driver**」を選択し、「追加と削除」をクリックします。**

メッセージに従って、操作を続けます。

重 要

- **再起動後に、「ディスプレイに問題があります。」と表示されたときは、「画面のプロパティ」ダイアログで色数を** 16 **色に設定して、本パソコンを再起動してください。**
- **「**OK **をクリックするとハードウェアウィザードが始まります。」と表示されたときは、必ず「キャンセル」をクリックしてください。**

続いて、ドライバのインストールを行います。

3 「ドライバーズ CD**」をセットします。**

4 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

5 「設定」タブの「詳細」をクリックします。

6 「アダプタ」タブの「変更」をクリックします。

「デバイスドライバの更新ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

7 「次へ」をクリックします。

「検索方法を選択してください。」と表示されます。

8 「特定の場所にある ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。

9 「ディスク使用」をクリックします。

「ディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

10 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK**」をクリックします。**

[CD-ROMドライブ]:\atipro

「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。

11 **「モデル」から「RAGE LT PRO AGP 2X（日本語）」を選択し、「OK」をクリックします。**

「ドライバ更新の警告」ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。
「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と表示されます。

12 **「次へ」をクリックします。**

ファイルがコピーされます。「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

13 **「完了」をクリックします。**

14 **すべてのダイアログボックスを閉じ、メッセージに従って本パソコンを再起動します。**

POINT

- **このあと、必要に応じて、「アダプタ」タブの「リフレッシュレート」を「アダプタの既定値」に設定してください。**
  「リフレッシュレート」が表示されていない場合は、ディスプレイが正しく設定されていません。次の「ディスプレイの設定」を参照して、先にディスプレイを設定してください。

■ ディスプレイの設定

ディスプレイが自動的に設定されなかった場合は、続けて次の操作を行ってください。

1 **デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。**

「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 **「設定」タブの「詳細」をクリックします。**

3 **「モニタ」タブの「変更」をクリックします。**

あとは次のポイントをご覧になり、メッセージに従って操作してください。

POINT

- **「デバイスドライバの更新ウィザード」では、「特定の場所にある ...」をクリックし、「次へ」をクリックしてください。**
- **富士通製ディスプレイのモデル名がモデル一覧にない場合は、次の操作を行ってください。**
  1 **「ドライバーズ CD」をセットします。**
  2 **「ディスク使用」をクリックします。**
  3 **「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。**
  [CD-ROMドライブ]:\monitor
  富士通製 USB 対応ディスプレイをお使いの場合は、次のように入力してください。
  [CD-ROMドライブ]:\fjmonusb
- **「リフレッシュレート」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックし、「はい」をクリックしてください。**
- **解像度の設定ができなくなってしまったときは、本パソコンを再起動してください。**

プレインストールソフトのインストール

ここでは、ご購入時にインストールされているソフトウェアのインストール方法について記述しています。アンインストールしたソフトウェアを再度インストールする場合のみ、次の方法でインストールしてください。

POINT

- **カスタムメイドオプションのアプリケーションをインストールする方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。**

DirectX7.0a のインストール

1 **「ドライバーズ CD」をセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3 **「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

[CD-ROMドライブ]:\dx70a\dx7ajpn.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

Windows 環境調査ツール（FM Advisor）のインストール

1 **「ドライバーズ CD」をセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3 **「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

[CD-ROMドライブ]:\advisor\setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

Acrobat Reader のインストール

1 **「ドライバーズ CD」をセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3 **「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

[CD-ROMドライブ]:\acrobat\acrd4jpn.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

4 **本パソコンを再起動します。**

FMV 診断のインストール

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   `[CD-ROMドライブ]:\shindan\enterprise\disk1\setup.exe`

このあとは、メッセージに従って操作します。

FM 一発修正のインストール

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「C:\Fjuty」フォルダの下に「Fmcure」フォルダを作成します。
3. 「ドライバーズ CD」の「Fmcure」フォルダ内のすべてのファイルを、作成した「Fmcure」フォルダにコピーします。

添付ソフトのインストール

VirusScan のインストール

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   `[CD-ROMドライブ]:\vscan\win95_98\setup.exe`

このあとは、メッセージに従って操作します。

FMKEEPER のインストール（〔ML〕除く）

インストール手順につきましては、「ドライバーズ CD」の「Update」フォルダ内にある「Etc」フォルダの「Fmkeeper」フォルダ内にある Readme.txt をご覧ください。

FM-Menu のインストール

1 **「ドライバーズ CD」をセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3 **「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

[CD-ROMドライブ]:\fmmenu\setupfm-menu.exe

「FM-Menu インストール」が表示されます。

4 **「次へ」をクリックします。**

このあとは、メッセージに従って操作します。

はじめよう！インターネット（@nifty) のインストール

1 **「ドライバーズ CD」をセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3 **「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

[CD-ROMドライブ]:\nifty\setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

NIFTY MANAGER のインストール

1 **「ドライバーズ CD」をセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3 **「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

[CD-ROMドライブ]:\niftynim\setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

第4章
困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

1 こんなときには 50
2 それでも解決できないときは 54

1　こんなときには

ここでは、Windows98 の使用時に直面する問題について、Q&A 形式でまとめています。また、トラブルが発生したときや困ったときの参照先を説明しています。

トラブル発生時の参照先

Windows98 に関して

添付の Windows98 のマニュアルか、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプをご覧ください。

ハードウェアに関して

『ハードウェアガイド』をご覧ください。

トラブルシューティング

Q　プログラム実行中に Windows98 上のすべてのものが動かなくなってしまった

A　1 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。
2 動かなくなったプログラムを選択し、「終了」をクリックします。
プログラムが強制終了します。
もし上記の操作で強制終了できないときは、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押す操作を 2 回繰り返して、Windows98 を強制的に再起動してください。
また、リセットスイッチがついているパソコンでは、リセットスイッチを押してハードリセットを行ってください。
この方法で再起動できないときは、電源スイッチを 4 秒以上押して電源を切り、10 秒以上待ってから電源を入れてください。

POINT

- **プログラムを強制終了したり、本パソコンを再起動したり、強制的に電源を切った場合には、プログラムでの作業内容を保存することはできません。**
- **プログラムを強制終了したり、本パソコンを強制的に再起動したり、強制的に電源を切った場合は、「スキャンディスク」を実行することをお勧めします。**
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「スキャンディスク」の順にクリックしてください。
スキャンディスクを実行した結果、エラーがない場合はそのままお使いください。エラーが表示されたときは、メッセージに従って修復してください。ただし、修復してもトラブルが発生する可能性があります。トラブルが頻繁に発生する場合は、リカバリしてください（→ P.34）。

Q　マウスが使えないため、Windows98 を終了できない

A　キーボードを使って Windows98 を終了させることができます。

1【Windows】キーまたは【Ctrl】+【Esc】キーを押します。
「スタート」メニューが表示されます。
2「Windows の終了」を選択し【Enter】キーを押します。
「Windows の終了」ダイアログボックスが表示されます。
3「電源を切れる状態にする」を選択し、【Enter】キーを押します。
Windows98 が終了します。

マウスが故障している場合は、弊社パーソナルエコーセンターまたはご購入元に連絡してください。

Q　PC カードが使えない

A1　PC カードのドライバはインストールされていますか？

PC カードに Windows98 対応のドライバが添付されている場合、ドライバをインストールする必要があります。PC カードに添付のマニュアルをご覧ください。

A2　IRQ リソースは足りていますか？

IRQ リソースが不足する場合があります。次の操作を行ってください。

1 お使いにならないデバイス（プリンタなら「パラレルポート」など）を BIOS セットアップで「使用しない」にします（→『ハードウェアガイド』参照）。
2「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
3「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
4 お使いにならないデバイス（プリンタなど）をダブルクリックします。
5「全般」タブの「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」をチェックします。
6 ダイアログボックスを閉じます。

Q　アプリケーションのインストールが正常に行われない

A　ウイルス検索ソフトを起動している場合、その影響が考えられます。

ウイルス検索ソフトを終了させ、アプリケーションのインストールができるか試してください。
ウイルス検索ソフトを終了させてもインストールが正常に行われないときは、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

Q　新しくアプリケーションをインストールしたあと、他のアプリケーションを実行中にアプリケーションエラーが発生するようになった

A　アプリケーションのインストール時に追加された MFC ライブラリに問題がある場合があります。ソフトウェアライブラリをアップデートしてください（→ P.41）。

Q　ディスプレイドライバ、サウンドドライバ、LAN ドライバが正しく動作しない

A1　Windows98 が起動されないときは、Safe モードで起動してください。

手順は次のとおりです。

1 本パソコンの電源を入れます。
2 「FUJITSU」ロゴが表示されたら、【Ctrl】キーを押し続けます。
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。
3 「3. Safe mode」を選択し【Enter】キーを押します。
「キーボードのタイプを判定します。」と表示されます。
4 【半角／全角】キーを押します。
しばらくすると、「デスクトップ」ダイアログボックスが表示されます。
5 「OK」をクリックします。
6 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
7 「設定」タブの「詳細」をクリックします。
「(不明なデバイス）のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
8 「アダプタ」タブの「変更」をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
9 「次へ」をクリックします。
10 「特定の場所にある ...」をチェックし、「次へ」をクリックします。
11 一覧から「ディスプレイアダプタ」を選択し、「次へ」をクリックします。
12 「製造元」を「(標準ディスプレイ)」に、「モデル」を「標準 PCI グラフィックアダプタ（VGA)」に設定し、「次へ」をクリックします。
「ドライバ更新の警告」ダイアログボックスが表示されます。
13 「はい」をクリックします。
「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と表示されます。
14 「次へ」をクリックします。
15 「完了」をクリックします。
16 「閉じる」を 2 回クリックします。
「続行しますか？」と表示されます。
17 「はい」をクリックします。
再起動メッセージが表示されたら、本パソコンを再起動します。

POINT

- **再起動後に、「ディスプレイに問題があります。」と表示されたときは、「画面のプロパティ」ダイアログボックスで色数を 16 色に設定し、本パソコンを再起動してください。**
- **「OK をクリックするとハードウェアウィザードが始まります。」と表示されたときは、必ず「キャンセル」をクリックしてください。**

A2　各ドライバをインストールし直す必要があります。

お使いの機種に対応する各ドライバは、「デバイス一覧」（→ P.17）でご確認ください。
インストール方法については、「ドライバのインストール」（→ P.42）をご覧ください。

Q　オンラインヘルプやエラーメッセージの対処方法を参照しても原因がわからない

A　本パソコンでは、次のパソコン診断アプリケーションを用意しています。

FM Advisor

FM Advisor の使用方法は、次のとおりです。

1「スタート」ボタン→「プログラム」→「FM Advisor」→「FM Advisor」の順にクリックします。
調査結果が表示されます。

FMV 診断

FMV 診断の使用方法は次のとおりです。

1「スタート」ボタン→「FMV 診断」の順にクリックします。
このあとはメッセージに従って操作してください。

POINT

- **起動中のアプリケーションや常駐プログラムはすべて終了してください。**
- **スクリーンセーバーは「なし」に設定してください。**
- **フロッピーディスクドライブを診断する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクをセットしてください。**
- **CD-ROM ドライブを診断する場合は、お手持ちの CD-ROM をセットしてください。**

Q　画面の文字やウィンドウのボタンが正しく表示されない、フォントがインストールできない、ネットワークプロトコルが追加できない

A　「FM 一発修正」を使用してください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。
2「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

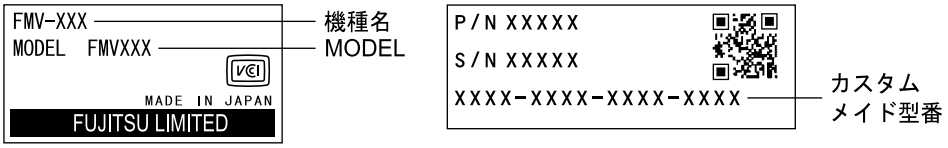
```
c:\fjuty\fmcure\fmcure.exe
```

2 それでも解決できないときは

下記の連絡先へお問い合わせください。なお、お問い合わせ前に機種名／ MODEL ／カスタムメイド型番を確認し、次のページのシートに環境とトラブル状況などを記入してください。

機種名／ MODEL ／カスタムメイド型番の表記場所

パソコン本体背面のラベルに記載されています。



連絡先

こんなときには	こちらへ
添付品の不備	ご購入元
故障かなと思われたとき	弊社パーソナルエコーセンター※またはご購入元
FM シリーズの技術的なご質問・ご相談	FM インフォメーションサービス※
本パソコンにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	本書の冒頭に記載されている「お問い合わせ一覧」（→ P.5）

※：パーソナルエコーセンターと FM インフォメーションサービスの連絡先は、添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください。

情報サービス

また、次の方法で情報サービスを行っております。

富士通パソコン FAX サービス （カタログ、Q&A 情報）	043-299-3642（千葉） 06-6949-3270（大阪）
インターネット （製品の技術情報、Q&A 情報）	富士通パソコンホームページ FM WORLD http://www.fmworld.net/
FM シリーズの音声による Q&A 情報	FM インフォメーションテレホンガイド 0120-89-2235

お問い合わせ前の確認シート

お使いのパソコンの機種は？	機種名：FMV-	MODEL：FMV
	カスタムメイド型番：	
	購入日：	購入店：

メモリの容量は？	本体標準： MB	
	増設： MB	［メーカー： ］ ［型番： ］

増設した周辺機器は？	**種類**	**型番号**	**メーカー**

お使いのソフトウェアは？	**ソフトウェア名**	**バージョン／レベル**	**メーカー**
	Windows 98 operating system SECOND EDITION	4.10.2222A	—

トラブル状況

トラブルの内容は？	
何をしているときに起こりましたか？	
エラーメッセージは表示されましたか？その内容は何ですか？	
以前は問題なく動作していましたか？	・ 以前は動作した ・ 今回初めて試した ・ 以前から動作しない

第 5 章
技術情報

留意事項について説明しています。

1　**その他の留意事項** 58

1　その他の留意事項

本パソコンをお使いになるうえでの留意事項を記載しています。

Windows98 の CD-ROM を要求された場合

ドライバのインストール時などに、「'Windows 98 Second Edition CD-ROM' ラベルの付いたディスクを挿入して「OK」をクリックしてください。」と表示される場合があります。このときは「c:\windows\options\cabs」を指定してください。

本パソコンで使用するソフトウェア

古いバージョン／レベルのソフトウェア（アプリケーション、ドライバ）を使用すると、本パソコンおよびソフトウェアが正常に動作しない場合があります。本パソコンに添付されているソフトウェアは、添付されているバージョンを使用するか、その最新版を入手して使用してください。
また、本パソコンに添付されていないソフトウェアの場合も、最新版を使用してください。

【Windows】キーを押したときの動作

アプリケーションを終了した直後やメッセージなどが表示されたウィンドウを閉じた直後に【Windows】キーを押すと、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、「閉じる」をクリックしてエラーメッセージを閉じ、Windows98 を再起動してください。

他の OS を使うには

WindowsNT 4.0 など、他の OS を使うには、いくつかの設定を行う必要があります。ただし、機種により使用できない OS もあります。
詳しくは、富士通パソコンホームページ FM WORLD（http://www.fmworld.net/）をご覧ください。
なお、インターネットをご利用になれない場合は、ご購入元にご確認ください。

Acrobat Reader について

市販のアプリケーションによっては、インストールの際に、Acrobat Reader を一緒にインストールするものがあります。このとき、本パソコンにプレインストールされている Acrobat Reader 4.05 よりも低いバージョンのものがインストールされてしまうことがあります。
バージョンをご確認のうえ、Acrobat Reader 4.05 をインストールし直してください（→ P.45）。

FM Advisor の CPU 情報表示

FM Advisor の「CPU 情報」の表示において、CPU 名・CPU クロックが正しく表示されない場合があります。あらかじめご了承ください。

ネットワーク運用時の省電力機能

ネットワーク環境下で省電力機能を使用する場合、次の点にご注意ください。
次の条件下では、使用するプロトコルやアプリケーションによっては、不具合（スタンバイ状態からの復帰時に正常に通信できないなど）が発生することがあります。

- TCP/IP、IPX/SPX プロトコル以外のプロトコルを使用している場合
- ネットワーク環境で通信中に、手動（電源スイッチを押す、「スタート」ボタン→「スタンバイ」の順にクリックする、などの操作）によりスタンバイ状態に移行した場合
- ネットワーク上でファイルの共有を設定し、手動（電源スイッチを押す、「スタート」ボタン→「スタンバイ」の順にクリックするなどの操作）によりスタンバイ状態へ移行したときに、次のダイアログボックスで「はい」を選択した場合

  「××個のファイルが、このコンピュータに接続しているユーザによって開かれています。コンピュータを停止するとファイルは強制的に閉じられ、ファイルを使っていたユーザはデータを失う可能性があります。続けますか？」

POINT

- **「電源の管理のプロパティ」ダイアログボックスにある「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」の設定はネットワークに影響しません。**

Wakeup On LAN 機能

■ 設定方法

ネットワーク環境下で Wakeup On LAN 機能を使用する場合は、次の設定を行ってください。

1　「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2　「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

3　次のデバイスを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

〔TX〕　「Intel(R) 82559 Fast Ethernet LOM with Alert on LAN 2*」
〔SL〕〔CL〕〔CX〕〔ML〕　「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)」

4　「電源の管理」タブをクリックします。

5　次の 2 つの項目をチェックし、「OK」をクリックします。

- 節電のためにコンピュータの電源を自動的に切る
- コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う

■ 留意事項

- Wakeup on LAN 機能を使用すると、ネットワーク状態を最新の情報に更新するためにコンピュータが定期的にアクティブになることがあります。そのため、不適切なときにコンピュータがアクティブになる可能性があります。そこで、スタンバイ状態への移行については、次の手順でタイマ値の設定をお勧めします。
  1 「コントロールパネル」ウィンドウの「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。
    「電源の管理のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
  2 「電源設定」タブの「システム スタンバイ」を「20 分後」以上に設定します。

POINT

- **設定値が 20 分より短いと、パソコン本体がスタンバイ状態に移行していても他のコンピュータからの接続確認データを受信して、スタンバイ状態から復帰してしまう場合があります。なるべく 20 分よりも長い値を設定してください。**

ファイル共有サービス

NetWare ネットワーク共有サービスによりファイル共有を行う場合、別のコンピュータと接続中に接続が切れる場合があります。この場合、Microsoft ネットワーク共有サービスをインストールし、再度接続してください。

ネットワークドライブの割り当て

「ネットワークドライブの割り当て」機能を使ってネットワーク上の共有フォルダにドライブ名を割り当てていると、Windows98 を正常に終了または再起動できなくなる場合があります。その場合は Windows98 を終了または再起動する前に、「ネットワークドライブの割り当て」を解除してください。
詳細については、富士通パソコンホームページ FM WORLD（http://www.fmworld.net/）をご覧ください。

プロトコルの設定

本パソコンでのネットワークの運用時には、必ず通信プロトコルを確認してください。「コントロールパネル」ウィンドウの「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「ネットワークの設定」タブで確認および変更します。本パソコンのご購入時の設定では、「TCP/IP」が選択されていますので、接続するネットワークのプロトコルに合わせて変更してください。使用するプロトコルについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

ネットワーク使用時の留意事項

次の LAN デバイスを複数使用したネットワーク運用は行えません。

- 2 枚の LAN カード
- パソコン本体の内蔵 LAN デバイスと LAN カード

LAN の設定を変更する

LAN の設定を変更する場合、お使いになる環境に合わせて次の設定を行ってください。

POINT

- **LAN の設定は、LAN ケーブルを接続してから行ってください。**

■ スピードとデュプレックスの設定

本パソコンをハブユニットへ接続したとき、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバーなどへ接続できない場合は、次の手順でハブユニットに合った設定へ変更してください。

●〔TX〕〔SL〕〔CL〕〔CX〕の場合

1 「ネットワークコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。

2 「ネットワークの設定」タブで次のデバイスをクリックし、「プロパティ」をクリックします。

〔TX〕　「Intel(R) 82559 Fast Ethernet LOM with Alert on LAN 2*」
〔SL〕〔CL〕〔CX〕「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)」

3 「詳細設定」タブで通信速度を変更します。

- Speed：伝送路速度を指定します。指定しない場合は自動認識（Auto Detect）で動作します。
  10Mbps（10BASE-T）
  100Mbps（100BASE-TX）
- Duplex：通信方式を指定します。指定しない場合は自動認識で動作します。
  Full-Duplex（全二重モード）
  Half-Duplex（半二重モード）

POINT

- **全二重モードに設定する場合、ハブユニット側も全二重モードに設定する必要があります。**

4 「OK」をクリックし、「ネットワーク」ダイアログボックスの「OK」をクリックします。

再起動メッセージが表示されます。

5 「はい」をクリックします。

●〔ML〕の場合

1 「コントロールパネル」ウィンドウの「Intel(R) PROSet」アイコンをダブルクリックします。

2 「Advanced」タブの「Setting」で「Link Speed & Duplex」をクリックし、「Value」から通信速度／通信方式を指定します。

100Mbps/Full Duplex … 100Mbps の速度で、「送信」「受信」に専用のラインを使用して同時に通信を行います。
100Mbps/Half Duplex … 100Mbps の速度で、「送信」「受信」別々に通信を行います。
10Mbps/Full Duplex … 10Mbps で通信を行い、「送信」「受信」に専用のラインを使用して同時に通信を行います。
10Mbps/Half Duplex … 10Mbps の速度で、「送信」「受信」別々に通信を行います。
Auto Detect …ハブユニットと通信を行い、「通信速度」「通信方式」を自動的に決定します。

POINT

- **全二重モードに設定する場合、ハブユニット側も全二重モードに設定する必要があります。**

3 「OK」をクリックします。

4 本パソコンを再起動します。

■ **ローカルアドレスの設定**
ローカルアドレスを使用する場合は、次の設定を行ってください。

●〔TX〕〔SL〕〔CL〕〔CX〕の場合

1 「ネットワークコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。

2 「ネットワークの設定」タブで次のデバイスをクリックし、「プロパティ」をクリックします。

〔TX〕　「Intel(R) 82559 Fast Ethernet LOM with Alert on LAN 2*」
〔SL〕〔CL〕〔CX〕「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)」

3 「詳細設定」タブをクリックします。

4 **「Network Address」を選択し、「値」に値を設定します。**

「値」には、「02」で始まる 16 進 12 桁を入力します。グローバルアドレスに戻したい場合は「0」を指定してください。

POINT

- **設定する値については、ネットワーク管理者に確認してください。**

5 **「OK」をクリックし、「ネットワーク」ダイアログボックスの「OK」をクリックします。**

再起動メッセージが表示されます。

6 **「はい」をクリックします。**

●〔ML〕の場合

1 **「コントロールパネル」ウィンドウの「Intel(R) PROSet」アイコンをダブルクリックします。**

2 **「Advanced」タブの「Setting」で「Locally Administered Address」をクリックし、「Value」に値を設定します。**

「Value」には「02」で始まる 16 進 12 桁を入力します。グローバルアドレスに戻したい場合は、「Restore Default」をクリックしてください。

POINT

- **設定する値については、ネットワーク管理者に確認してください。**

3 **「OK」をクリックします。**

4 **本パソコンを再起動します。**

複数のオーディオソースを録音する場合

複数のオーディオソース（マイクやラインインなど）を録音する場合、次の操作を行ってください。

1 **タスクバーのスピーカーアイコンをダブルクリックします。**

2 **「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。**

3 **「音量の調整」で「録音」をクリックし、「表示するコントロール」で以下をチェックして「OK」をクリックします。**

〔TX〕〔SL〕〔CL〕〔CX〕　「ステレオミックス」
〔ML〕　「ステレオアウト」

4 「ステレオミックス」または「ステレオアウト」の「選択」をチェックします。

これで、「マスタ音量」として出力される音すべてが録音対象となります。この場合、録音するオーディオソースの選択やボリュームレベル、バランスなどを「マスタ音量」のミキサーで操作します。

サウンドドライバの設定（〔ML〕）

サウンドドライバを設定する場合、次の点にご注意ください。

設定箇所：

「コントロールパネル」ウィンドウ－「マルチメディア」－「オーディオ」タブ－「再生」の「詳細プロパティ」－「パフォーマンス」タブ－「ハードウェアアクセラレータ」のスライドバー

- 「なし」に設定した場合：ASP ファイルが正常に再生できない、IEEE1394 用のアプリケーションが正常に動作しない問題があります。
- 「最大」に設定した場合：一部のゲームが正常に動作しない問題があります。ご購入時の設定は「最大」になっています。

スタンバイ時の留意事項

- 電源スイッチなどで本パソコンをスタンバイにしても、まれにすぐに復帰することがあります。その場合には、いったんマウスを動かしてから、再びスタンバイにしてください。
- 動画の再生中や音楽の録音、再生中は、「電源の管理のプロパティ」ダイアログボックスで「システムスタンバイ」を「なし」に設定してください。

復電時に電源が入る場合（〔TX〕〔SL〕〔CL〕〔CX〕）

停電から復旧したとき、または AC コンセントを抜き差ししたときに、自動的にパソコンの電源が入ることがあります。その場合は、BIOS セットアップを次のように設定してください。

〔TX〕　「起動」－「復電時の電源状態」：常にオフ
〔SL〕〔CL〕　「省電力」－「AC 通電再開時の動作」：電源オフ
〔CX〕　「省電力」－「AC 通電再開時の動作」：電源 Off

USB

USB インターフェースは、将来ご購入される USB 対応周辺装置すべての動作を保証するものではありません。USB に関する最新情報については、下記のオンライン情報サービスにてご案内する予定です。

FM WORLD：http://www.fmworld.net/

CD-ROM ドライブの DMA 設定（〔CX〕〔ML〕）

「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「デバイスマネージャ」タブで CD-ROM の DMA の設定を行わないでください。正常な動作が保証できません。

光磁気ディスクドライブの DMA 設定（〔TX〕〔SL〕〔ML〕）

カスタムメイドオプションで光磁気ディスクドライブ（ATAPI）を選択している場合、「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「デバイスマネージャ」タブでディスクドライブの「FUJITSU MCD3130AP」「FUJITSU M25-MCB3064AP」の DMA 設定を行わないでください。正常な動作が保証できません。

IDE デバイス接続時の留意事項（〔TX〕〔FMV-6800SL5〕）

セカンダリ IDE のマスタ側に接続して使用していたデバイスをスレーブ側に接続する場合は、接続し直す前に次の手順を行ってください。この手順を行わずに接続した場合、デバイスが見えなかったり、DMA の設定が正しく行われなかったりすることがあります。

1　「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

2　「デバイスマネージャ」タブの「接続別に表示」をクリックします。

3　次の項目の「+」を順にクリックして、セカンダリ IDE に接続されているデバイスを表示します。

「Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS」※－「PCI バス」－「Intel 82801AA Bus Master IDE Controller」－「セカンダリ IDE コントローラ（デュアル FIFO）」

※：APM に変更している場合は、「プラグアンドプレイ BIOS」と表示されています。

4　「セカンダリ IDE コントローラ（デュアル FIFO）」の下に表示されている項目をクリックして、「削除」をクリックします。

表示されている項目はすべて削除してください。

5　Windows を終了し、本パソコンの電源を切ります。

6　デバイスを接続します。

7　本パソコンを起動します。

接続したデバイスが検出されますので、メッセージに従って操作してください。

表示されるメモリサイズ（〔SL〕（FMV-6800SL5 を除く）〔CL〕〔CX〕）

「システムのプロパティ」上で表示されるメモリサイズは、実際に搭載されているメモリサイズより、2MB 少なく表示されます。

2DD（720KB）フロッピーディスクのフォーマット

2DD のフロッピーディスクをフォーマットしたあとにファイルコピーを行うと、「ディスク書き込みエラー」が表示されることがあります。この場合、何かキーを押せば、デスクトップ画面に戻ることができます。

ディスプレイドライバ

- 解像度を変更した場合、一部のアプリケーションでウィンドウが画面からはみ出すことがあります。この場合は、ウィンドウをドラッグして正しい位置に移動するか、解像度を元に戻してください。
- ディスプレイ接続時、画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイにあった周波数が設定されているか確認してください。それでも中央に表示されない場合は、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください（〔CX〕除く）。
- 解像度／色数を変更する場合は、必ず起動中のアプリケーションや常駐しているプログラムを終了させてから行ってください。また、変更後は必ず再起動してください。画面の表示が乱れることがあります。
- グラフィック性能は、環境設定および使用するアプリケーションによって異なります。
- 「(標準ディスプレイ)」の「SuperVGA」ドライバは使用しないでください。
- Windows98がプラグアンドプレイモニタを自動検出したとき､手動でディスプレイの変更を行うと解像度が正しく表示されないことがあります｡この場合は､「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「デバイスマネージャ」タブから「モニタ」をダブルクリックし、設定されているディスプレイを削除します。そのあと「更新」をクリックして、再び自動検出を行ってください。
- スクリーンセーバー表示中に、カーソル表示が残る場合があります。
  フルスクリーンで動作するアプリケーションを実行するときは、スクリーンセーバーを OFF にしておくことをお勧めします。スクリーンセーバー復帰後ウィンドウ画面になることがあります。
- DirectX 対応のソフトウェアをご使用の場合、必ず本パソコンにインストールされているディスプレイドライバに合った DirectX のランタイムをインストールしてください。
- 動画を再生するときは、ディスプレイの省電力機能やシステムスタンバイの設定は行わないでください。
- 本パソコンにインストールされているディスプレイドライバは、DirectX7.0a をサポートしています。
- 仕様の異なるディスプレイ（特に液晶ディスプレイ）に交換すると、画面が表示されないなどの表示異常が発生する場合があります。次の手順で交換してください（〔CX〕除く）。
  1 交換前に解像度を 640 × 480 に設定します。
  2 リフレッシュレートを「アダプタの既定値」に設定します。
  3 本パソコンの電源を切り、ディスプレイを交換します。
  上記設定を行わずにディスプレイを交換して、画面が表示されない、または表示できない解像度がある場合、次の手順でドライバを再インストールしてください。
  1 Safe モードで Windows98 を起動します（→ P.52）。
  2 グラフィックアダプタを「標準 PCI グラフィックアダプタ（VGA）」に設定して再起動します。
  3 ディスプレイドライバを再インストールします。
- お使いになるディスプレイや、解像度の設定によっては、CAD 系アプリケーションなどで縦線と横線の太さが異なって見えることがあります。設定を調整して使用してください。

- 〔TX〕〔FMV-6800SL5〕の場合、256 色の設定では、Direct3D のハードウェアアクセラレーション（HAL）はサポートしていません。色数を 256 色に設定した状態で Direct3D 対応のアプリケーションを表示させた場合、ソフトウェアでの実行となるため、表示速度／表示画質に問題が発生する場合があります。この場合は色数を High Color（16 ビット）/ True Color（32 ビット）に設定してください。
- 〔ML〕の場合、256 色 / True Color（24 ビット）の設定では、Direct3D のハードウェアアクセラレーション（HAL）はサポートしていません。色数を 256 色 / True Color（24 ビット）に設定した状態で Direct3D 対応のアプリケーションを表示させた場合、ソフトウェアでの実行となるため、表示速度／表示画質に問題が発生する場合があります。この場合は色数を High Color（16 ビット）/ True Color（32 ビット）に設定してください。
- 〔SL〕（FMV-6800SL5 を除く）〔CL〕〔CX〕の場合、256 色 / True Color（24 ビット）の設定では、Direct3D のハードウェアアクセラレーション（HAL）はサポートしていません。色数を 256 色 / True Color（24 ビット）に設定した状態で Direct3D 対応のアプリケーションを表示させた場合、ソフトウェアでの実行となるため、表示速度／表示画質に問題が発生する場合があります。この場合は色数を High Color（16 ビット）に設定してください。
- 〔SL〕（FMV-6800SL5 を除く）〔CL〕〔CX〕でマウスカーソルにハードウェアカーソルを使用している場合、カーソルが変形する瞬間に点滅することがあります。動作上問題ありませんので、そのまま使用してください。
- 〔SL〕（FMV-6800SL5 を除く）〔CL〕〔CX〕の場合、画面のプロパティを開いた状態で省電力機能を使用すると、表示が乱れることがあります。
- ソフトウェアカーソル（アニメーションポインタなど）を使用すると、カーソルがフラッシュ（点滅）することがあります。
- アプリケーションが正常に動作しない場合は、次のいずれかの操作を行ってください。
  - 「ドライバーズ CD」の「Update」フォルダ内に収録されているディスプレイドライバをインストールします。インストール方法は、「Update」フォルダ内の Readme.txt または Install.txt をご覧ください。
  - 「画面のプロパティ」ダイアログボックスで色数の設定を変更します。
  - 次の手順で「ハードウェアアクセラレータ」を「なし」に設定します。なお、この設定を行うとアプリケーションによっては性能低下や音声などに問題が発生する場合があります。ご了承ください。
    1 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
    2 「パフォーマンス」タブの「グラフィックス」をクリックします。
    3 「ハードウェアアクセラレータ」を「なし」に設定し、「OK」をクリックします。
- 〔SL〕（FMV-6800SL5 を除く）〔CL〕〔CX〕では、次の場合に画面が一瞬暗くなることがあります。動作上問題ありませんので、そのままお使いください。
  - Windows の起動ロゴ画面
  - デバイスマネージャ上で「更新」をクリックした瞬間
  - 「画面のプロパティ」の「ディスプレイ」タブを開いた後にプロパティウィンドウを閉じる瞬間
  - 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」を実行後、ウィンドウを閉じる瞬間
- 〔SL〕（FMV-6800SL5 を除く）〔CL〕〔CX〕では、「画面のプロパティ」の「カラー」タブを表示したとき、画面が一瞬乱れる場合があります。動作上問題ありませんので、そのままお使いください。

- 〔SL〕（FMV-6800SL5 を除く）〔CL〕で、解像度、色数、周波数を変更したあとに、画面が表示されない、画面が中央に表示されないなどの問題が生じた場合、下記の手順でモニタを「プラグアンドプレイモニタ」に変更していただくと、正常に表示されることがあります（特に、液晶ディスプレイ、プラズマディスプレイをお使いの場合）。
  1「コントロールパネル」の「画面」アイコンをダブルクリックします。
  「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
  2「設定」タブをクリックします。
  3「詳細」をクリックします。
  4「モニタ」タブをクリックします。
  5「変更」をクリックします。
  「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されます。
  6「次へ」をクリックします。
  7「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。
  8「すべてのハードウェアを表示」を選択します。
  9「製造元」から「(標準モニタの種類)」を、「モデル」から「プラグアンドプレイモニタ」を選択し、「次へ」をクリックします。
  10「次へ」をクリックします。
  11「完了」をクリックします。
  12「閉じる」をクリックします。
  13「OK」をクリックします。

画面表示に関する留意事項

- 次のような場合に、画面が乱れたり画面上に線が見えることがあります。
  - Windows98 を起動、または終了するとき
  - スタンバイ状態になるとき、または元の状態に戻るとき
  - 画面の解像度や発色数、リフレッシュレートを変更するとき
  - フルスクリーンにする、または元の状態に戻すなど、画面が切り替わるとき

  これは一時的な画面の乱れで、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 「コントロールパネル」ウィンドウでアイコンを選択したときに、ウィンドウの左側の説明（選択したアイコンの情報が表示される部分）が正しく表示されない場合があります。この場合は、「コントロールパネル」ウィンドウを再表示（ウィンドウを最小化して元に戻すなど）してください。
  また、Safe モード中に表示したウィンドウ（「コントロールパネル」ウィンドウなど）は、そのあと Windows98 を再起動しても、ウィンドウ左側の説明が表示されません。この場合は、そのウィンドウの「表示」メニューの「Web ページ」をチェックすると、説明が表示されるようになります。
- 「画面のプロパティ」ダイアログボックスを表示したときや、「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「ディスプレイの詳細」タブで色数を変更後再起動したときに、まれにエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、表示されたメッセージの「閉じる」をクリックし、Windows98 を再起動してください。

- 3D ポインタなどを使用していると、動画などを再生中にマウスポインタが表示されなかったり、ちらついて表示されたりすることがあります。このときは、「マウスのプロパティ」ダイアログボックス（「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「マウス」アイコンをダブルクリックすると表示されます）の「ポインタ」タブの「デザイン」を「(なし)」に設定してください。

Windows98 の起動と終了に関する留意事項

Windows98 の起動と終了については、次の点に注意してください。

- アプリケーションのウィンドウを表示したまま Windows98 を終了または再起動すると、エラーメッセージが表示される場合があります。また、Windows98 の終了または再起動中に、編集中のデータを保存するかどうかの確認メッセージが表示され、保存するように指定しても、正しく保存されない場合があります。Windows98 を終了または再起動するときは、必要なデータをすべて保存し、起動しているアプリケーションをすべて終了してください。
- アプリケーション（「メモ帳」や「ペイント」など）でファイルを新規に作成したあとに Windows98 を終了するときは、作成したファイルが必要な場合は、必ずそのファイルを保存してから Windows98 を終了してください。ファイルを保存せずに Windows98 を終了しようとしたときにも、保存先やファイル名を指定するダイアログボックスが表示されますが、このとき日本語入力システムは使用できません。

「アクセサリ」に関する留意事項

■「スキャンディスク」実行中のメッセージ

「スキャンディスク」を実行中に、次のような警告メッセージが表示されることがあります。

「Windows または他のアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が 10 回に達しました。実行中の他のアプリケーションを終了すると、チェックが早く行われます。今後もこの警告メッセージを表示しますか？」

この警告メッセージはアプリケーションや、Windows98 のメモリスワップ機能が、ディスクに書き込みを行っているために表示されるもので、本パソコンの異常を表すものではありません。

「いいえ」をクリックして今後このメッセージを表示しないようにするか、「はい」をクリックしてそのまま処理を続けてください。

■「Microsoft Backup」でテープデバイスを使用できない場合

出荷時の状態では、「Microsoft Backup」を使用してテープデバイスへバックアップすることはできません。「Microsoft Backup」でテープデバイスを使用する場合は、次の手順に従って、「Microsoft Backup」をインストールし直してください。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。

3 「ファイルの種類」の一覧から「システムツール」を選択し、「詳細」をクリックします。

4 **「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」のチェックを外し、「OK」をクリックします。**

5 **「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスで、「OK」をクリックします。表示されるメッセージに従い、パソコンを再起動します。**

6 **「Microsoft Backup」の削除が完了したら、再度手順 1 ～ 3 を行います。**

7 **「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」をチェックし、「OK」をクリックします。**

8 **「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスで、「OK」をクリックします。メッセージに従ってパソコンを再起動してください。**

POINT

- **「Microsoft Backup」を再インストールすると、本体のパラレルコネクタにプラグアンドプレイ対応の機器（プリンタなど）を接続した場合に、次のような問題が発生する場合があります。**
  - **接続した機器がまったく認識されない**
  - **パソコンを起動するたびに、接続した機器が検出される**
  - **同じ機器を接続しても、検出されたり、検出されなかったりする**
  - **接続した機器の動作が不安定になる**

  上記のような問題が発生する場合は、次の方法で回避できることがあります。
  - **Windows98 を起動したあとに、パラレルコネクタに接続した機器の電源を入れる**
  - **ドライバのインストールがうまくいかない場合は、「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックし、「プリンタの追加」からインストールする**

  上記の手順は一例です。詳細は、ご購入になった機器のメーカーに問い合わせるか、機器に添付のマニュアルをご覧ください。

■「ドライブスペース」起動時のメッセージ

他のアプリケーション（常駐するアプリケーションも含め）を起動しているときに「ドライブスペース」を使用すると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、他のアプリケーションを終了させてから、「ドライブスペース」をお使いください。

■「サウンドレコーダー」起動時のメッセージ

「サウンドレコーダー」を起動したときに、「サウンドレコーダーの設定が他のアプリケーションに変更されています。」というメッセージが表示される場合があります。
この場合は、「はい」をクリックして「サウンドレコーダー」を続けてください。本メッセージが表示されても、「サウンドレコーダー」の使用上は何も問題はありません。

■「ペイント」でビットマップの色が正常に保存できない場合

「ペイント」にビットマップを貼り付け保存せずに「ペイント」を終了すると、保存を確認するメッセージが表示されます。そのとき「はい」をクリックして保存すると、データの色数が 256 色の場合、ビットマップの色が正常に保存されない場合があります。「ペイント」を終了する場合は、「ファイル」メニューの「上書き保存」または「名前を付けて保存」をクリックし、ビットマップを保存してから終了してください。

また、ワープロソフトなどで作成した文書に貼り付けられた画像をオブジェクト編集する場合には、呼び出された「ペイント」のパレットの色が正しく表示されません。オブジェクトの編集は、画像を貼り付ける前に行ってください。

■「システム情報」で作成したテキストファイル

「システム情報」で、「ファイル」メニューの「エクスポート」を行うと、作成されたファイル内の「ドライブの空き領域」の値が、画面上の「Microsoft システム情報」で表示される内容と異なります。画面で表示されている値が正しい情報ですので、そちらをご覧ください。

■「拡大鏡」使用時の留意事項

「拡大鏡」を使用している場合、次の操作は「拡大鏡」を終了してから行ってください。

- 起動時に画面の解像度が変わるアプリケーションの起動
- Windows98 の終了

「拡大鏡」を起動したまま上記の操作を行うと、「拡大鏡」や壁紙が正しく表示されなくなる場合があります。「拡大鏡」が正しく表示されないときは、「拡大鏡」を再起動してください。壁紙が正しく表示されないときは、Windows98 を再起動してください。

アプリケーションのインストール時／アンインストール時の留意事項

アプリケーションのインストール／アンインストールについては、次の点に注意してください。

- アプリケーションを削除する方法は、それぞれのアプリケーションごとに異なります。各アプリケーションのマニュアル、またはヘルプをご覧ください。
- アプリケーションをアンインストールしたとき、そのアプリケーションに関連した、お客様が作成したファイルや設定した環境などが消えてしまうことがあります。アプリケーションを削除する前に、必要なファイルをフロッピーディスクなどにバックアップしておくことをお勧めします。
- アプリケーションをアンインストールする際、共有モジュールは削除しないことをお勧めします。削除すると、インストールされている他のアプリケーションが起動できなくなるなど、他のアプリケーションに影響を与える場合があります。
- 各アプリケーションを再インストールしたあと、「スタート」メニューにショートカットは登録されても、アイコンが表示されない場合があります。このときは、パソコン本体を再起動してください。
- アプリケーションのインストールまたはアンインストールを行うときに、他のアプリケーションを起動していると、アプリケーションエラーが発生することがあります。必ず、起動中のアプリケーションをすべて終了してから行ってください。
- アプリケーションのインストール時に、インストールが完了したことを知らせるダイアログボックスが他のウィンドウなどに隠れてしまう場合があります。この場合は、【Alt】+【Tab】キーを何回か押して、完了を知らせるダイアログボックスを表示し、インストールを終了させてください。
- アプリケーションをインストールしたあと、タスクバーに不要なボタンが残る場合があります。この場合は、そのボタンをクリックすると、ボタンが消えます。
- 特定のファイルとアプリケーションが関連付けられている場合、そのアプリケーションをアンインストールすると、関連付けの設定も解除されます。

- 一部のアプリケーションでは、アンインストール後、Windows98 を起動するたびに「プログラム開始エラー！」と表示される場合があります。これは、アプリケーションがアンインストールされたあともスタートアップにアプリケーションのショートカットが登録されたままになっているためです。この場合は、「スタート」メニューの該当するショートカットを削除してください。

時刻の設定が反映されない場合

「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックス（「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「日付と時刻」アイコンをダブルクリックすると表示されます）で日付や時刻を変更したあと、「適用」をクリックして設定した場合は、「OK」をクリックして「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックスを閉じてください。「キャンセル」または ✕ で閉じると、変更した結果が正しく設定されない場合があります。

フロッピーディスクのフォーマット

未フォーマットのフロッピーディスクをWindows98でフォーマットすると、他のOS上でフォーマットするときよりも時間がかかります。あらかじめご了承ください。
また、未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマット中は、「フォーマット」ダイアログボックスの「キャンセル」をクリックしないでください。もし「キャンセル」をクリックしてしまった場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して、Windows98 を再起動してください。

「エクスプローラ」が動作しなくなった場合

「エクスプローラ」で CD-ROM ドライブの内容を表示したまま Windows98 を再起動し、その再起動中に CD-ROM を取り出すと、再起動した直後に「エクスプローラ」が反応しなくなる場合があります。この場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して、「エクスプローラ」を終了してください。

スタンバイ状態での異常終了

スタンバイ状態で、電源を切ったり異常終了したりすると、次のメッセージが表示される場合があります。

「コンピュータは、何度か待機状態になり、応答を停止しました。今後、待機状態にならないようにしますか？」

この場合は、必ず「いいえ」をクリックしてください。「はい」をクリックすると、以降スタンバイ機能が使用できなくなります。

ACPI モード

ご購入時、本パソコンは ACPI（Advanced Configuration and Power Interface）モードに設定されています。APM（Advanced Power Management）モードへの変更方法は、インターネットにある富士通パソコンホームページ FM WORLD（http://www.fmworld.net/）をご覧ください。
ここでは、ACPI モードに関する留意事項と、スタンバイモードの変更方法（→ P.74）を説明します。

■ オプションに関する注意

オプションが ACPI モードに対応している必要があります。ACPI モードに対応していないオプションを接続すると、オプションが使用できなくなる、またはスタンバイモードから復帰できなくなる場合があります。事前にオプションが ACPI モードに対応しているかどうかをオプションのメーカーに確認してください。

なお、最新ドライバに変更することで ACPI モードに対応できるオプションもあります。詳細はオプションのメーカーに確認してください。

■ 使用できない機能

- **BIOS セットアップの省電力メニュー**

  BIOS セットアップの省電力メニューの設定は、一部を除いて無効となります。各設定の詳細は、『ハードウェアガイド』をご覧ください。

■ その他の注意

- PCI 拡張カードを増設する場合は、その拡張カードおよびドライバが「IRQ シェアリング（割り込みの共有）」をサポートしている必要があります。増設する PCI カードが IRQ シェアリングをサポートしているかどうかは、各 PCI カードメーカーに確認してください。
- 以下の状態でスタンバイ状態に移行させると、スタンバイ状態にならない／スタンバイ状態から復帰しない／復帰後に正常に動作しない／データが消失する問題が発生することがあります。
  - Windows98 の起動中／シャットダウン処理中
  - ファイルアクセス中（フロッピーディスク、ハードディスク、CD-ROM ドライブや光磁気ディスクドライブのアクセスランプが点灯中）
  - サウンドや動画の再生中（MIDI/WAVE/AVI/MPEG/DAT 形式のファイルの再生中や音楽 CD の再生中）
  - プリンタ印刷中
  - モデムやネットワークの通信中
  - マウスの操作中
  - ACPI モードに対応していないオプション（拡張カード、周辺機器）を増設している場合
- 「コントロールパネル」ウィンドウの「電源の管理」を以下のように設定し、電源スイッチや「スタート」ボタン→「Windows の終了」→「スタンバイ」の順にクリックして強制的にスタンバイ状態にさせず、アイドル状態のときだけ移行させてください。
  - 「詳細」タブの「電源ボタン」の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を「シャットダウン」に設定します（ご購入時設定済）。これにより、電源スイッチを使った強制的なスタンバイ状態への移行を回避できます。
  - 「電源設定」タブの「システムスタンバイ」で移行するまでのアイドル時間（たとえば「30 分後」）を設定します。これにより、ファイルアクセス中や通信中などにスタンバイ状態への移行を回避できます。
- スタンバイ状態へ移行する際、「デバイスのドライバが原因でスタンバイ状態に入れません。アプリケーションをすべて閉じてから、もう一度やり直してください。問題が解決しない場合は、そのドライバを更新することをお勧めします。」の警告ダイアログボックスが表示されて、スタンバイ状態へ移行できない場合があります。これは、プログラムが動作中でスタンバイに入れない状態を示します。スタンバイ状態へ移行させるためには、動作中のプログラムを終了させてください。

■ スタンバイ状態からの復帰条件

ACPI モードの標準（ACPI S1）／高度（ACPI S3）のスタンバイ状態から、次の表で○になっている復帰要因で通常の状態に復帰させることができます。

復帰要因	ACPI モード 標準（ACPI S1）	ACPI モード 高度（ACPI S3）※6
電源スイッチ※1	○	○
PS/2 キーボード、PS/2 マウス	○	○（〔TX〕のみ）※7
USB キーボード、USB マウス	○	○（〔TX〕のみ）
時刻指定※2	○	○
LAN※3	○	○
モデム着信（Ring Indicator 信号）※4	○	○
PCI 拡張カード（PME# 信号）※5	○	○

※1：「コントロールパネル」ウィンドウ－「電源の管理」－「詳細」タブの「電源ボタン」の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を「シャットダウン」に設定した場合でも、電源スイッチを押すとスタンバイ状態から復帰します。

※2：「タスク」を使用した場合

※3：「デバイスマネージャ」－「ネットワークアダプタ」－「Intel(R) 82559 Fast Ethernet LOM with Alert on LAN2*」または「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)」のプロパティの「電源の管理」タブの以下の項目をチェックする必要があります。
・「節電のためにコンピュータの電源を自動的に切る」
・「コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」

※4：通信ソフトを起動し、着信待ち状態にしておく必要があります（〔TX〕では、COM1 のみ）。

※5：PME# 信号をサポートした PCI 拡張カード（PCI Revision 2.2 規格に準拠）を搭載した場合

※6：〔ML〕はサポートしていません。

※7：PS/2 マウスでは復帰しません。

■ ACPI のスタンバイモードを設定する（〔ML〕除く）

ACPI のスタンバイモードには、次の 2 種類があります。

- 標準（ACPI S1）… CPU の動作を停止します。
- 高度（ACPI S3）…メモリ以外の装置の動作を停止します。標準（ACPI S1）と比較し、省電力に優れる一方で通常の状態への復帰には時間がかかります。

ご購入時には、標準（ACPI S1）に設定されています。高度（ACPI S3）に設定する方法は、以下のとおりです。

〔CX〕をお使いの場合は、「ドライバーズ CD」の「Update」フォルダ内にある Readme.txt をご覧になり、スタンバイ方法の設定を行ってください。

POINT

- 〔ML〕は、標準（ACPI S1）のみサポートしています。高度（ACPI S3）に切り替えることはできません。
- オプションを増設して、スタンバイモードを高度（ACPI S3）で使用するには、増設するオプションが高度（ACPI S3）に対応している必要があります。
  対応していない場合は、高度（ACPI S3）にならず、標準（ACPI S1）になってしまったり、スタンバイ状態から復帰しなかったり、復帰したあとに正しく動作しなかったりする場合があります。特に必要のない場合は、標準（ACPI S1）の設定のままお使いになることを、強くお勧めします。

- **カスタムメイドオプションで、**SCSI **カードを選択している場合、スタンバイモードは標準（**ACPI S1**）のみサポートしています。**
  標準（ACPI S1**）のままお使いください。**
- **「コントロールパネル」ウィンドウの「ユーザー」で、**1 **台のパソコンを複数ユーザーでログインして使用する場合、「スタンバイモード設定ツール」を標準（**ACPI S1**）に設定すると、他のユーザーも高度（**ACPI S3**）で使用できなくなります。すべてのユーザーが標準（**ACPI S1**）／高度（**ACPI S3**）を同一の設定にしておく必要があります。**
- **キーボードやマウスの操作では高度（**ACPI S3**）のスタンバイ状態から復帰しません。電源スイッチを押して復帰させてください。**
- USB **ハブ経由で** USB **機器を使用する場合、高度（**ACPI S3**）のスタンバイ状態から復帰後に** USB **機器が使用できなくなることがあります。その場合は、**USB **ハブとパソコン本体を接続している** USB **ケーブルをいったん抜き、再度差し込んでください。**
- **高度（**ACPI S3**）から復帰後、**USB **キーボードのキーリピート機能が働かなくなることがあります。**
- **高度（**ACPI S3**）から復帰後、本パソコンの性能が低下することがあります。**
- **〔**SL**〕（**FMV-6800SL5 **を除く）〔**CL**〕〔**CX**〕の場合、高度（**ACPI S3**）のスタンバイ状態からの復帰処理途中で、一時的に画面の文字の大きさが大きくなる、画面に茶色等の背景が表示されるなど、画面が乱れることがあります。動作上問題ありませんので、そのままお使いください。**
- **〔**SL**〕（**FMV-6800SL5 **を除く）〔**CL**〕〔**CX**〕で** ACPI **のスタンバイモードの高度（**ACPI S3**）をお使いの場合は、**BIOS **セットアップで次のように設定してください。**
  - **〔**SL**〕（**FMV-6800SL5 **を除く）〔**CL**〕**
    「省電力」－「ACPI **設定」－「ディスプレイアダプタの初期化」：使用する**
  - **〔**CX**〕**
    「PnP/PCI**」－「ディスプレイアダプタの初期化」：使用する**

1　**「ドライバーズ** CD**」をセットします。**

2　**「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「名前」に次のように入力し、「**OK**」をクリックします。**

```
[CD-ROMドライブ]:\chgsmode\chgsmode.exe
```

3　**「次の画面」をクリックします。**

「スタンバイモードの設定」ダイアログボックスが表示されます。

4　**「高度」または「標準」をクリックし、「**OK**」をクリックします。**

再起動メッセージが表示されます。

5　**「**OK**」をクリックします。**

索引

記号

3 モードフロッピーディスクドライバ 15

A

ACPI モード 72
Acrobat Reader 15
　ーのインストール 45

C

CD-ROM 17

D

DirectX7.0a. 15
　ーのインストール 45
DMA. 19, 64, 65

F

FAT16 . . . . . 19, 36
FAT32 . . . . . 19, 36
FDISK 37
FM Advisor 15, 53
　ーのインストール 45
FMKEEPER 16
　ーのインストール 46
FM-Menu 16
　ーのインストール 47
FMV 診断 15, 53
　ーのインストール 46
FM 一発修正. 15, 20, 53
　ーのインストール 46

I

Internet Explorer 5.01 15

L

LAN
　ードライバのインストール 42
　ーの設定を変更する 60

M

MFC ライブラリのアップデートプログラム. 16
Microsoft IME98. 15
MODEL. 54
MS-DOS モードで CD-ROM を利用する 25

N

NIFTY MANAGER. 16
　ーのインストール 47

O

OS 追加プログラム. 16
　ー ShutdownSupplement 16
　ー URL Security アップデートプログラム 16
　ーシャットダウン修正モジュール . .16

P

PCMCIA ソケット. 17
Power MANagement for Windows. . .16, 30

S

SCSI コントローラ 17

V

VirusScan 16, 22
　ーのインストール 46

W

Wakeup On LAN **機能** 59
Windows 98 **ツール** 15
Windows98 15
　－起動ディスクの作成 12
　－セットアップ 10
　－の CD-ROM 58
WindowsNT 4.0 58
Windows **環境調査ツール**
（FM Advisor**）** 15
　－のインストール 45

あ

アンインストール 20
色数 26
お問い合わせ前の確認シート 55

か

解像度 26
カスタムメイド型番 54
キーボード 17
機種名 54
コンピュータウイルス 22
　－の被害届け 23
　－を発見した場合 23

さ

サウンドドライバのインストール 42
サウンド、ビデオ、および
ゲームのコントローラ 17
使用許諾契約書 11
情報サービス 54
情報処理振興事業協会 23
スピードの設定 61
ソフトウェアライブラリ
　－アップデートプログラム 16
　－のアップデート 41

た

他の OS 58
ディスクドライブ 17
ディスプレイ
　－アダプタ 17
　－ドライバのインストール 42
　－の設定 44
デュプレックスの設定 61
ドライバーズ CD 42
ドライブ構成 19
トラブルシューティング 50

な

名前 11
ネットワーク
　－運用時の省電力機能 59
　－使用時の留意事項 60
ネットワークアダプタ 18

は

ハードディスク
　－コントローラ 18
　－の圧縮を解除する 35
　－の領域を設定する 36
はじめよう！インターネット
（@nifty**）** 16
　－のインストール 47
プレインストール
　－仕様 15
　－ソフト 15
フロッピーディスク
　－コントローラ 18
　－ドライブクリーニング
　　ユーティリティプログラム 15
プロトコルの設定 60
ポート（COM/LPT**）** 18

ま

マウス 18
モニタ 18

や

ユーザー登録 12
ユニバーサルシリアルバス コントローラ 18

ら

リカバリ 34, 39
リカバリ CD-ROM 34
リカバリ CD-ROM **起動ディスク** 34
　ーの準備 12
連絡先 54
ローカルアドレスの設定 62

FMV-6866TX5

FMV-6800SL5/6733SL5/6667SL5/6600SL5c/6566SL5c

FMV-6667CL5/6600CL5c/6566CL5c

FMV-6667CX5/6566CX5c

FMV-5533ML5

Windows® 98 **モデル**
ソフトウェアガイド
B5FH-0421-01-00

発 行 日　2000 **年** 5 **月**
発行責任　富士通株式会社

● 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
● 無断転載を禁じます。